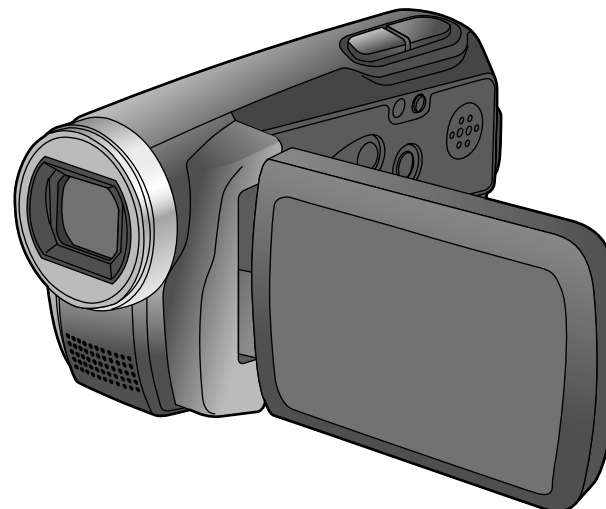
Panasonic®

取扱説明書
SDビデオカメラ

品番 **SDR-S7**

愛情点検	長年ご使用の SD ビデオカメラの点検を！
	こんな症状はありませんか：・電源プラグが異常に熱い ・煙が出たり、異常なにおいや音がする ・画像が乱れたり、きれいに映らない ・水や異物が入ったり、その他の異常や故障がある
	このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故の防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ(おぼえのため、記入されると便利です)

お買い上げ日	年　月　日	品　番	SDR-S7
販売店名	☎（　　）		
お客様相談窓口	☎（　　）		

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。

- ●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ●ご使用前に「安全上のご注意」（88～93ページ）を必ずお読みください。
- ●保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

松下電器産業株式会社　ネットワーク事業グループ
〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15 号

F0408KS0 (700 Ⓐ)
VQT1R80

もくじ

「安全上のご注意」(P.88 ～ 93)を必ずお読みください。

はじめに

準備する

撮影する

再生する

編集する

他の機器で

パソコンで

その他

英語のクイックガイドを100 ～ 103ページに記載しております。どうぞご利用ください。
The English Quick guide is indicated on P100 to P103.
Refer to the pages if you prefer English.

ご使用の前に

■事前に必ずためし撮りをしてください

大切な撮影(結婚式など)は、必ず事前にためし撮りをし、正常に撮影や録音されていることを確かめてください。特に「逆光補正」などの機能をご使用の際は、設定をご確認ください。

■撮影内容の補償はできません

本機およびSDカードの不具合で撮影や録音されなかった場合の内容の補償については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■著作権にお気をつけください

あなたが撮影(録画など)や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気をつけください。

■本書内の写真、イラストについて

本書内の写真は、説明のためスチル写真から合成しています。また、本書内の製品姿図・イラスト・メニュー画面などは実物と多少異なりますが、ご了承ください。画面のイラストでは、表示される文字や記号を実物より大きくして説明しています。

■本書での記載について

以下のように記載しています。

- バッテリーパック →「バッテリー」
- SDメモリーカード、SDHCメモリーカード →「SDカード」
- ビデオ撮影 / ビデオ再生で使える機能 → /
- 写真撮影 / 写真再生で使える機能 → /

■参照ページについて

参照いただくページを(P.10)で示しています。

■本機で使用できるカードは

SDメモリーカードおよびSDHCメモリーカードです。
詳しくは、10ページをご覧ください。

■メモリーカードを廃棄/ 譲渡するときのお願い

- 本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。
- 廃棄/ 譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

- 本製品に付属するソフトウェアを無断で営業目的として複製(コピー)したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。
- 本製品の使用、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- SDHCロゴは商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
  Dolby、ドルビーおよびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Vista®およびDirectX®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- IBMおよびPC/ATは米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- Celeron®、Intel®、Intel® Core™ SoloおよびPentium®はIntel Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Apple、Mac OSは米国Apple Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- その他、この説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

ホームページではビデオの撮り方やコツ、新製品の情報などを紹介しています。
参考にご覧ください。
http://panasonic.jp
また製品のサポート情報については
http://panasonic.jp/support
をご覧ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

付属品

次の付属品がすべて入っているかお確かめください。記載の品番は2008年3月現在のものです

□ バッテリーパック
VW-VBJ10

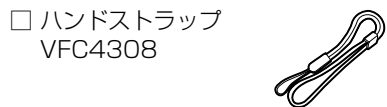
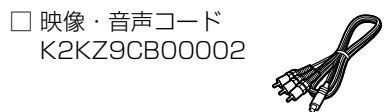
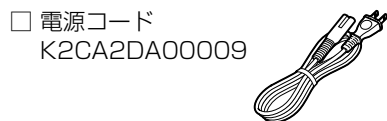
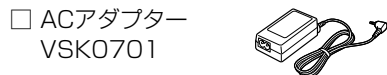
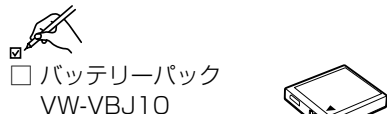
□ ACアダプター
VSK0701

□ 電源コード
K2CA2DA00009

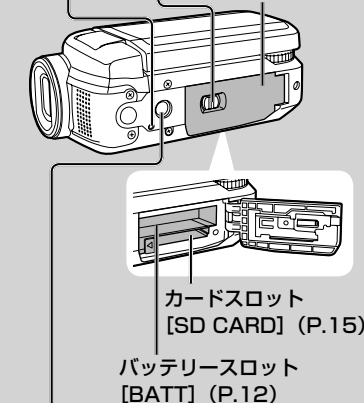
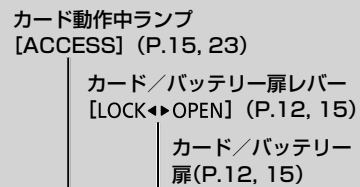
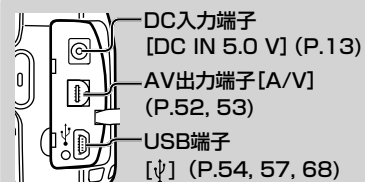
□ 映像・音声コード
K2KZ9CB00002

□ ハンドストラップ
VFC4308

□ USB接続ケーブル
K2KZ4CB00011

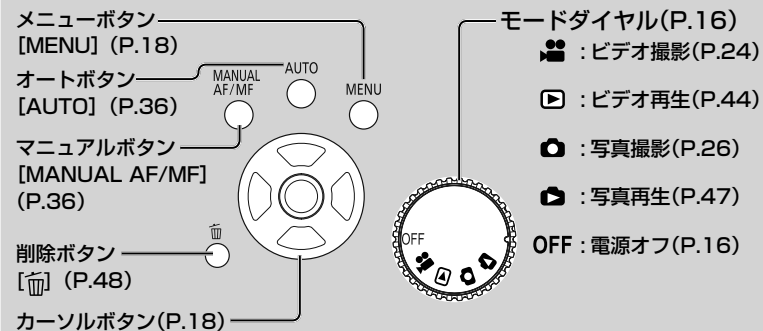
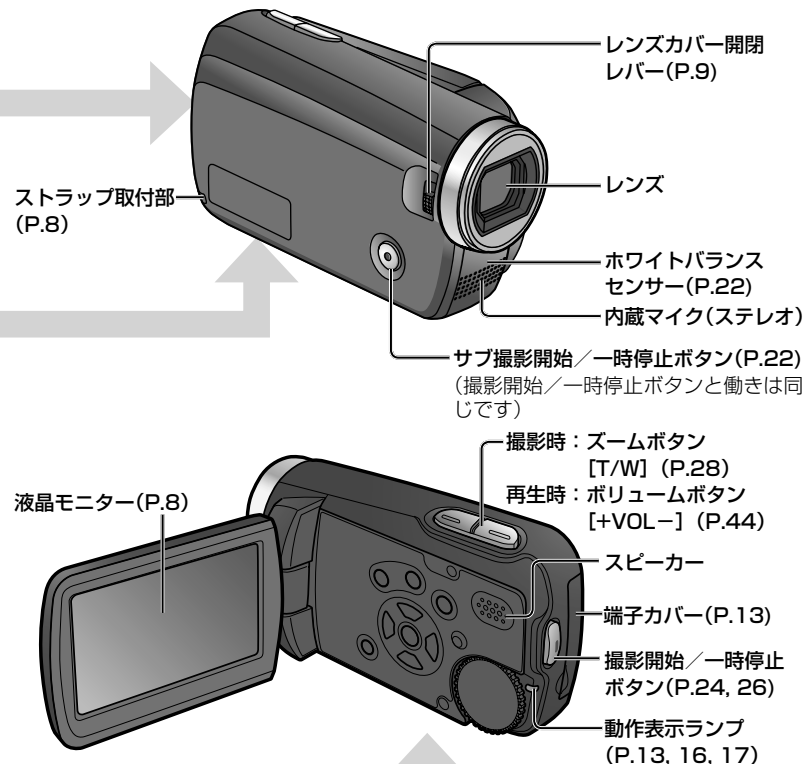
□ CD-ROM

- 包装材料は、商品を取り出した後、適切に処理してください。

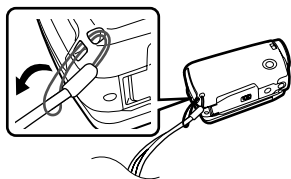
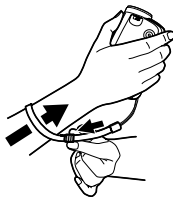
■付属品は、「パナセンス」でお買い求めください

http://www.sense.panasonic.co.jp/

各部の名前と取り扱い

三脚取付穴

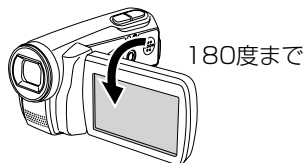
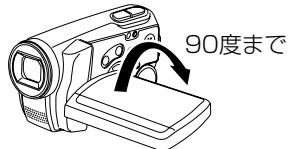
三脚(別売)の取り付け方については、三脚の取扱説明書をお読みください。(三脚によっては、使用中にカード／バッテリー扉を開けることができません。三脚を取り付ける前にSDカードとバッテリーを入れてください)

- レンズカバー開閉レバー(P.9)
- レンズ
- ストラップ取付部(P.8)
- ホワイトバランスセンサー(P.22)
- 内蔵マイク(ステレオ)
- サブ撮影開始／一時停止ボタン(P.22)
  (撮影開始／一時停止ボタンと働きは同じです)
- 撮影時：ズームボタン [T/W] (P.28)
  再生時：ボリュームボタン [+VOL－] (P.44)
- 液晶モニター(P.8)
- スピーカー
- 端子カバー(P.13)
- 撮影開始／一時停止ボタン(P.24, 26)
- 動作表示ランプ(P.13, 16, 17)
- メニューボタン [MENU] (P.18)
- オートボタン [AUTO] (P.36)
- マニュアルボタン [MANUAL AF/MF] (P.36)
- 削除ボタン [🗑] (P.48)
- カーソルボタン(P.18)
- モードダイヤル(P.16)
  - 🎥：ビデオ撮影(P.24)
  - ▶：ビデオ再生(P.44)
  - 📷：写真撮影(P.26)
  - 写真再生(P.47)
  - OFF：電源オフ(P.16)

ハンドストラップ(付属)の使い方

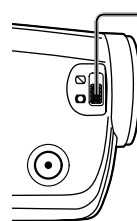
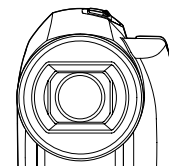
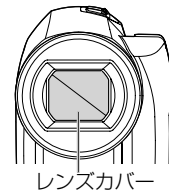
① ストラップを取り付ける

② 手を入れ長さを調節する

液晶モニターの使い方

液晶モニターで映像を確認しながら撮影します。

① 開ける

② 角度を調整する

●無理に開けたり、回転可能な角度以上回転させると故障の原因になります。
●明るさや色の濃さを調整できます(P.21)。

レンズカバー開閉レバーの使い方

撮影の前にレンズカバーを開けてください。

レンズカバー開閉レバーを[◘]側にスライドさせて、レンズカバーを開いてください。

●レンズ保護のために、使用しない時は、レンズカバー開閉レバーを[⊘]側にスライドさせて、レンズカバーを閉じてください。

使用できるSDカード(別売)

次のSDメモリーカードとSDHCメモリーカードが使えます。

カードの種類	容量
SDメモリーカード (SDスピードクラスがクラス2以上をおすすめ)	256 MB 512 MB 1 GB 2 GB
SDHCメモリーカード (SDHC ロゴのあるものをご使用ください)	4 GB 8 GB 16 GB

- 8 MB、16 MBのSDメモリーカードは、写真のみ撮影できます。
- 32 MB、64 MB、128 MBのSDメモリーカードは、写真は撮影できますが、ビデオ撮影は途中で停止することがあります。
- マルチメディアカードは、使用できません。

■おすすめの当社製SD ／ SDHCメモリーカード(2008年3月現在)

次の当社製SD ／ SDHCメモリーカード、または、SDスピードクラス2以上のSDカードをおすすめします。それ以外のSDカードでは、ビデオ撮影が途中で停止することがあります。

	SDメモリーカード	SD/SDHCメモリーカード		
	High Speed	Class 2	Class 4	Class 6
256 MB	RP-SD256B	—	—	—
512 MB	RP-SDK512※	RP-SDR512	—	RP-SDV512
1 GB	RP-SDH01G※	RP-SDR01G※	RP-SDM01G	RP-SDV01G
2 GB	RP-SDK02G※	RP-SDR02G※	RP-SDM02G	RP-SDV02G
4 GB	—	RP-SDR04G※	RP-SDM04G	RP-SDV04G
8 GB	—	—	RP-SDM08G	RP-SDV08G
16 GB	—	—	RP-SDM16G	RP-SDV16G

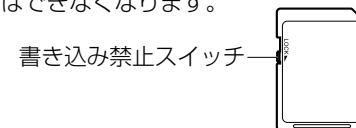
※生産終了品

取り扱い上のお願い

- カード裏の端子部に触れない。また、ごみや水、異物を付着させない。
- 次のような場所に置かない。
  - ・直射日光の当たるところ
  - ・湿気やほこりの多いところ
  - ・暖房器具の近く
  - ・温度差の激しいところ(つゆつきが発生する)
  - ・静電気や電磁波が発生するところ
- 使用後は袋やケースに入れる。
- 電気ノイズや静電気、本機やSDカードの故障などによりSDカードのデータが壊れたり、消失することがあります。大切なデータは、付属のUSB接続ケーブルやMotionSD STUDIOなどを使って、パソコンに保存しておいてください(P.68)。

■書き込み禁止にする

SDカードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にしておくと、カードへの書き込みやデータの削除、フォーマットはできなくなります。

書き込み禁止スイッチ

●**SDHCメモリーカードはSDHC対応機器でしか使用できません。**
他機とカードを共用されるときはお気をつけください。

●**SDカードのフォーマットは必ず本機で行ってください。**
パソコンなどでフォーマットすると記録に時間がかかったり、使えなくなることがあります。

●他機で使用したSDカードを使うときは、まずカード内のデータをパソコンなどにコピーしてから本機でフォーマットしてください。

●本機は、SD規格に準拠したFAT12、FAT16形式でフォーマットされたSDメモリーカード、およびFAT32形式でフォーマットされたSDHCメモリーカードに対応しています。

●**SDスピードクラス2**
SD規格の速度規格の「クラス2」のことで、本機のようなSDスピードクラス2以上推奨の機器で、安定した動作が得られます。

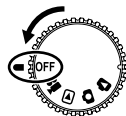
準備する 1

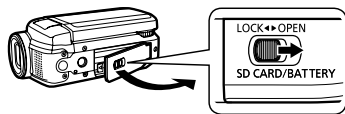
充電する

お買い上げ時、バッテリーは充電されていません。充電してからご使用ください。
充電にかかる時間について(P.14)

本機にバッテリーを入れ充電します。

❶ モードダイヤルを[OFF]にする

[OFF]以外ではAC電源使用(動作表示ランプが赤点灯)になり、充電できません。

❷ カード/バッテリー扉を開ける

カード／バッテリー扉レバーを「OPEN」側へスライドさせて開ける。

❸ バッテリーを入れる

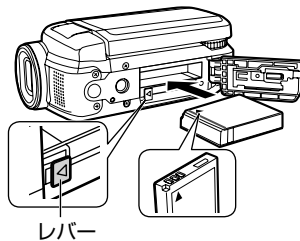
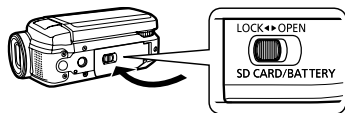
向きに気をつけ、バッテリーの中央を[▲]の方向にカチッと音がしてレバーでロックされるまで押し込む

バッテリーを取り出すときは、レバーを[◁]矢印方向に押す。

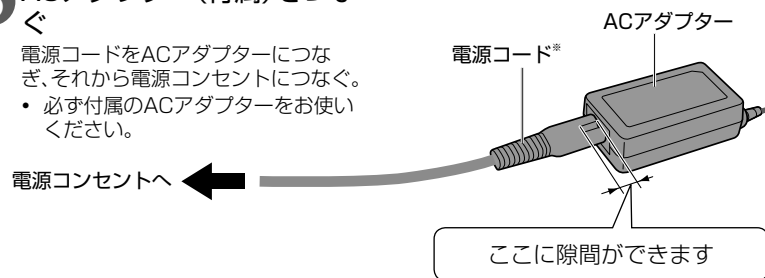
レバー

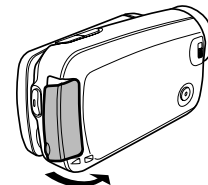
❹ カード/バッテリー扉を閉める

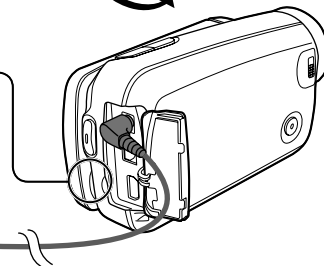
カード／バッテリー扉を閉じて、カード／バッテリー扉レバーを「LOCK」側へスライドさせる。

LOCK◂▸OPEN
SD CARD/BATTERY

❺ ACアダプター(付属)をつなぐ

電源コードをACアダプターにつなぎ､それから電源コンセントにつなぐ。

- 必ず付属のACアダプターをお使いください。

※電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。

❻ 端子カバーを開ける

❼ DCプラグをカメラのDC入力端子につなぐ

動作表示ランプ
赤点滅(約1秒間隔)：充電開始
消灯　　　　　　　：充電完了

動作表示ランプが次のようなときには…

点滅しない：

バッテリーを入れ直し、ACアダプターをつなぎ直してください。
それでも点滅しないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

速く点滅(約0.25秒間隔)：充電できません。次のような処置を行ってみてください。

- バッテリーを入れ直し、もう一度充電する
- バッテリーや周囲の温度が高すぎる／低すぎるため、カメラとバッテリーが適温になるまで待ってから、もう一度充電する

それでも充電が始まらないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

遅く点滅(約3秒間隔)：次のような理由で充電に時間がかかります。

- バッテリーが著しく放電している
- バッテリーや周囲の温度が高すぎる／低すぎる

●充電中に本体の電源を入れると、AC電源使用になり、充電が中断します。

準備する 2 充電時間・撮影可能時間／バッテリー残量表示

充電時間・撮影可能時間

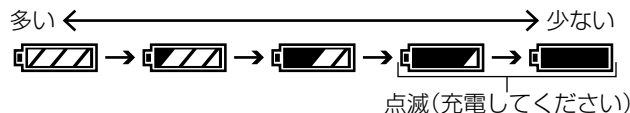
温度25 ℃、湿度60 %での時間で、目安です。高温、低温時は充電時間が長くなります。

●付属のバッテリー VW-VBJ10（電圧3.6 V ／容量1000 mAh）

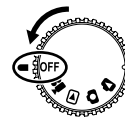
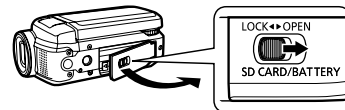
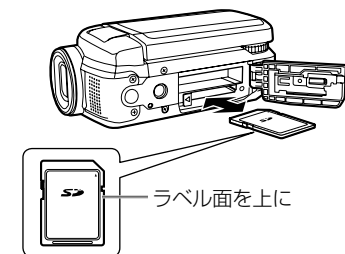
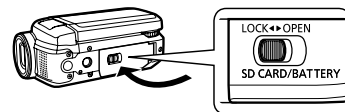
充電時間	約2時間15分	
撮影可能時間	連続撮影可能時間	実撮影可能時間
	約1時間10分	約40分

●実撮影可能時間とは、撮影／停止、電源の入／切、ズーム操作などを繰り返したときに撮影できる時間です。
●使用状況によって撮影可能時間は変わります。例えば、パワー LCD機能を使用しているときは撮影可能時間が短くなります。
●低温下など使用環境によっては撮影可能時間が短くなりますので、予備のバッテリーを準備することをおすすめします。

バッテリー残量表示

バッテリーの残量が少なくなるに従って、次のように表示が変わります。

パナソニック純正品に非常によく似た外観をした模造品のバッテリーが一部海外で流通していることが判明しました。このようなバッテリーの模造品の中には、一定の品質基準を満たした保護装置を備えていないものも存在しており、そのようなバッテリーを使用した場合には、発火・破裂等を伴う事故や故障につながる可能性があります。安全に商品をご使用いただくために、バッテリーを使用するパナソニック製の機器には、弊社が品質管理を実施して発売しておりますパナソニック純正バッテリーのご使用を改めておすすめいたします。
なお、弊社では模造品のバッテリーが原因で発生した事故・故障につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
●実際の品物を確認するのが難しい状態で購入したバッテリーや、異常に低い価格で販売されているバッテリーの中には、模造電池が多く確認されていますのでお気をつけください。

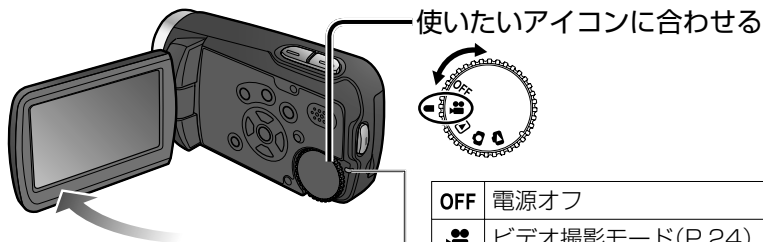
準備する 3 SDカード（別売）を入れる／出す

SDカードは別売です。
準備：モードダイヤルを[OFF]にします。
（動作表示ランプが消えているか確認）
電源が入ったままSDカードを入れる（または抜く）と、本機が故障したり、SDカードのデータが破壊される場合があります。

1 カード/バッテリー扉を開ける
カード／バッテリー扉レバーを「OPEN」側へスライドさせて開ける。

2 SDカードを入れる／出す
• 入れるとき：
ラベルを上にして、カチッというまでまっすぐ押し込む
• 出すとき：
SDカードの中央を押し、まっすぐ引き抜く

3 カード/バッテリー扉を閉める
• カード／バッテリー扉を閉じて、カード／バッテリー扉レバーを「LOCK」側へスライドさせる。
• 扉が完全に閉まらないときは、SDカードを抜き、向きを確認して入れ直してください。

●カード動作中ランプ点灯中は、読み出し、記録、再生、削除などを実行中ですので、点灯中に下記の操作を行わないでください。SDカードやSDカードの内容が破壊されたり、本機が正常に動作しなくなることがあります。
・ 電源を切る
・ バッテリーやACアダプターを外す
・ カード／バッテリー扉を開けてSDカードを抜く
・ モードダイヤルを回す
・ 本機を振る、衝撃を与える
・ USB接続ケーブルを抜く

準備する 4 電源を入れる／切る（モードを選ぶ）

モードダイヤルを回して、ビデオの撮影／再生、写真の撮影／再生、電源オフを切り換えます。

モードダイヤルは無理に回さず、ゆっくり確実に合わせてください。

使いたいアイコンに合わせる

OFF	電源オフ
🎥	ビデオ撮影モード(P.24)
▶	ビデオ再生モード(P.44)
📷	写真撮影モード(P.26)
📷▶	写真再生モード(P.47)

動作表示ランプ
- 電源オンのとき：赤点灯
  （🎥 ▶ 📷 📷▶ を選んだとき）
- 電源オフのとき：消灯

●初めて電源を入れたときは、日時を設定するようメッセージが表示される場合があります(P.20)。

液晶モニターで電源を入れる／切る

[🎥]または[📷]を選んでいるときは、液晶モニターを開けると電源が入り、閉めると電源が切れます。（ビデオ記録中は液晶モニターを閉めても電源は切れません）
- 「クイックスタート」（次頁）が[入]になっているときは、液晶モニターを閉めるとクイックスタート待機状態になります。
- **本機をご使用にならないときは、モードダイヤルを[OFF]にしてください。**

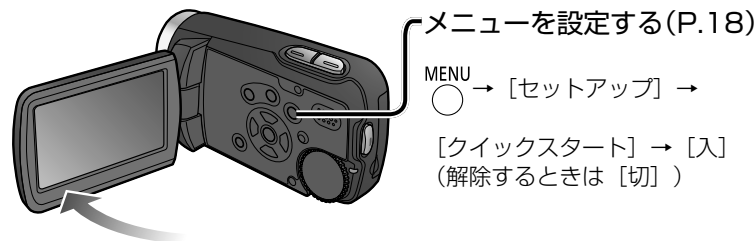
すばやく起動する(クイックスタート)

モードダイヤルが[🎥]または[📷]のときに、すばやく撮影可能な状態になります。
クイックスタートの設定を[入]にすると、液晶モニターの操作に応じて次のようになります。

液晶モニターの操作	本機の状態	動作表示ランプ
開ける	約0.6秒で撮影が開始できる状態になる	赤点灯
閉める	クイックスタート待機状態※になる	緑点滅

※撮影停止状態の約5割の電力を消費しています。

■クイックスタートを設定する

メニューを設定する(P.18)

MENU → ［セットアップ］ →
［クイックスタート］ → ［入］
（解除するときは［切］）

- お買い上げ時は[入]に設定されています。

●クイックスタート待機状態は、次の場合に解除されて電源が切れます(動作表示ランプが消灯)。
- 約5分以上続いたとき
- モードダイヤルを回したとき

●ホワイトバランスを自動調整(オート撮影時や、マニュアル撮影時にホワイトバランスを[AWB]に設定したとき)にしてクイックスタートした場合、クイックスタートに入る前と光源が違っていると再度自動調整するため時間がかかることがあります。（ただし、カラーナイトビュー使用時は再度自動調節しません）
●本機に衝撃が加わった場合、起動に時間がかかることがあります。
●クイックスタート後、ズーム倍率は1倍になります。
●「パワーセーブ」(P.76)を[5分] に設定して自動的にクイックスタート待機状態になった場合は、液晶モニターを閉じ、再度開いてください。

準備する 5

メニューを設定する／言語を変える

機能の選択や操作の実行、メニューの設定などは、カーソルボタンで行います。

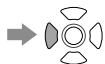
撮影中や再生中にメニューは表示できません。
メニュー項目について(P.74「メニュー一覧」)

■一つ前の画面に戻りたいとき

■途中でやめたいとき

❶ メニューを表示する

MENU

メニュー画面はモードによって変わります。

❷ トップメニューを選ぶ

（[]、[]の場合）

❸ トップメニューを決定する

または

❹ サブメニューを選ぶ

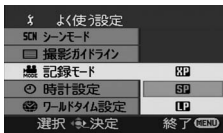
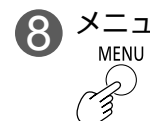
❺ サブメニューを決定する

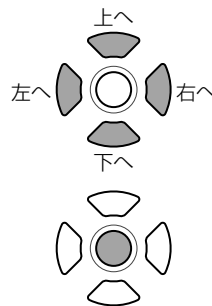
または

❻ 項目を選ぶ

❼ 項目を決定する

❽ メニュー画面を閉じる

MENU

カーソルボタンを使う

メニュー画面やサムネイル画面などで、項目を選んで決定するときに使用します。

●カーソルを移動する
を押すと、その方向へカーソルが移動します。

●中央を押すと決定

●メニュー表示中はモードダイヤルを回さないでください。
●メニュー表示中に撮影など他の操作はできません。

言語を変える

画面やメニューの表示言語を切り換えられます。

日時を設定する／液晶モニター　を調整する

日時を設定する

撮影前に、日時が合っているか確認してください。
初めて電源を入れたときは、日時を設定するようメッセージが表示される場合があります。
[はい]を選び、カーソルボタンの中央を押して、手順❸へ進んでください。

❶ [🎥]または[📷]に合わせる

❷ メニューを選ぶ

➡ MENU →[よく使う設定]→[時計設定]→[する]

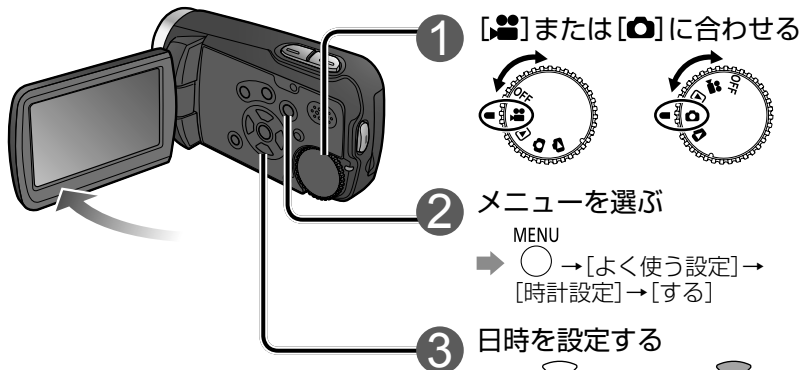
❸ 日時を設定する

項目を移動する

数値を変える

- 年は2000→2001→……2099→2000と変わります。
- 時間は24時間表示です。

❹ 決定する

- 0秒からカウントされます。
- [MENU]ボタンを押してメニュー画面を閉じた後、日時表示を確認してください。

■表示を変えたいとき

●項目を変えたいとき

➡ MENU →[セットアップ]→[日時表示]

[切]：　表示しない
[日時]：日付と時間を表示
[日付]：日付のみ表示

●スタイルを変えたいとき

➡ MENU →[セットアップ]→[表示スタイル]

表示形式	画面表示
[年/月/日]	2008.12.15
[月/日/年]	12 15 2008
[日/月/年]	15.12.2008

●サマータイムは、日時の設定を行った後、ワールドタイム機能の「お住まいの都市・地域を設定する」(P.42)で設定できます。
●日時表示が「 - - 」のときは、内蔵日時用電池が消耗しています。次の方法で充電した後、時計を設定してください。本機にACアダプターをつなぐかバッテリーを取り付けると、内蔵電池が充電されます。約24時間そのままにしておくと、約6カ月間日時設定を記憶することができます。(電源を切っても充電はされています)

液晶モニターを調整する

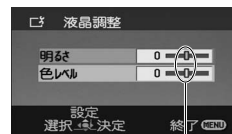
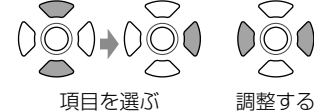
色や明るさを調整します(撮影画像には影響しません)。メニューの設定方法について(P.18)

❶ メニューを選ぶ

➡ MENU →[セットアップ]→[液晶調整]→[する]

❷ 項目を選び調整する

項目を選ぶ

調整する

液晶調整
明るさ 0
色レベル 0
設定
選択 決定
終了 MENU
バーが移動

[明るさ]：明るさの調整
[色レベル]：色の濃さの調整

■明るい場所で液晶モニターが見にくいとき(パワー LCD)
液晶モニター全体を明るくします。

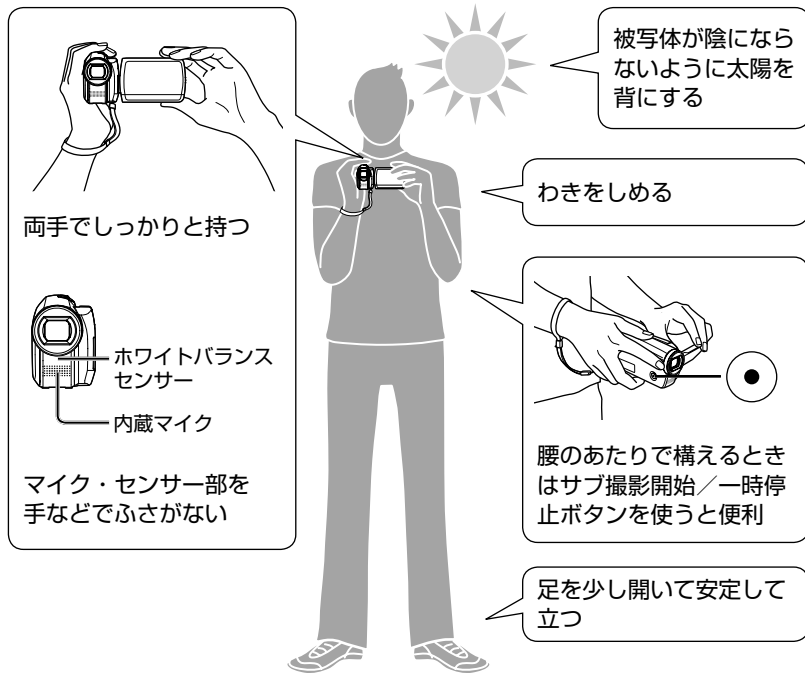
➡ MENU →[セットアップ]→[パワー LCD]

☼ ：通常の明るさ
+1☼ ：明るく
+2☼ ：より明るく

- ACアダプター使用時は自動的に[+1☼]になります。

撮影の前に

SDカードにビデオ・写真を記録します。
記録したビデオ・写真を本機では「シーン」と呼びます。

基本的な構え方

● **撮影の前にレンズカバーを開けてください。(P.9)**
撮影時にレンズカバーが閉じていると「明るさがたりません。レンズカバーを確認してください。」と表示される場合があります。(P.81)

「オート撮影」と「マニュアル撮影」の２種類の撮り方があります

オートで撮る(ビデオ・写真)

(お買い上げ時は「オート」に設定されています)

●色あいやピント、明るさを自動調整で撮りたいとき

P.24 ～ 27

マニュアルで撮る(ビデオ・写真)

(ピント合わせ、ホワイトバランス、シャッター速度、絞り・ゲイン値などを自分で設定する)

●自分で設定して撮りたいとき
●オートではうまく撮れないとき
●シーンに合った設定(シーンモード)を使いたいとき

P.36 ～ 41

お願い

SDカードにアクセス中(カード動作中ランプ点灯中)は、下記の操作をしないでください。SDカードやデータが破壊されることがあります。

- 電源を切る
- バッテリーやACアダプターを外す
- カード／バッテリー扉を開けてSDカードを抜く
- モードダイヤルを回す
- 本機を振る、衝撃を与える
- USB接続ケーブルを抜く

カード動作中ランプ
カード／バッテリー扉

●使用可能なSDカードについて(P.10)

オートで撮る(ビデオ)

自動でピントや色あいを合わせて、ビデオを撮影します。
バッテリーの撮影可能時間について(P.14)

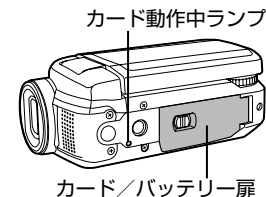
撮影の前にレンズカバーを開けてください。

1 [ビデオ]に合わせる

2 AUTO を押す

3 撮影を始める

液晶モニターを閉じても撮影は続きます。

4 撮影を停止する

❚❚ が赤色のときは撮影中です。
本機を動かさないでください。

■横縦比を4：3で記録したいとき

➡ MENU →[お好み設定]→[ワイド設定]→[4:3]

お買い上げ時は、横縦比がワイド(ワイドテレビ用)に設定されています。

■撮影開始／一時停止ボタンの音を消したいとき

➡ MENU →[セットアップ]→[お知らせブザー]→[切]

■画面の表示(P.78)を消したいとき

➡ MENU →[セットアップ]→[画面表示]→[切]

■撮り逃しを防ぎたいとき

PRE-REC機能(P.34)

- バッテリー使用時に約5分間操作しないと、バッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れます。再び使うときは、モードダイヤルを[OFF]にしてからモードを選び直すか、液晶モニターを閉じてから開けてください。自動で電源が切れないようにするには：(P.76「パワーセーブ」)
- 撮影を始めてから停止するまでが、「1シーン」として記録されます。シーンごとにカウンターは「0h00m00s」にリセットされます。
- 本機で撮影したビデオを当社製テレビ「ビエラ」のSDカードスロットを使って再生するには、[音声記録]（P.76)を[MPEG]にして撮影してください(お買い上げ時は[MPEG]に設定されています)。[DOLBY]で撮影した場合、音声が再生されない場合があります。その場合は、映像･音声コード(付属)でテレビと接続して、本機で再生してください(P.52)。

MODE 記録モードと記録時間

記録モードによって記録時間が変わります。

当社製SDカード1枚あたりの記録時間(目安)

SDカード容量	記録モード		
	XP (画質優先)	SP (標準)	LP (記録時間優先)
256 MB	3分	6分	12分
512 MB	6分	12分	25分
1 GB	12分	25分	50分
2 GB	25分	50分	1時間40分
4 GB	50分	1時間40分	3時間20分
8 GB	1時間40分	3時間20分	6時間40分
16 GB	3時間20分	6時間40分	13時間20分

- 撮影中に1シーンの記録容量が4 GBを超えると、別のシーンとして記録されます。
- 動きの激しい被写体を撮影した場合、同じSDカードに何度も書き込みを繰り返した場合は、記録時間は短くなります。
- 次のような場合、再生画面にモザイク状のノイズが出ることがあります。
  - 背景に複雑な絵柄がある場合
  - 本機を大きくまたは速く動かした場合
  - 動きの激しい被写体を撮影した場合(特に記録モードを[LP]に設定した場合)

■記録モードを変えたいとき

➡ MENU →[よく使う設定]→[記録モード]→XP／SP／LP

撮影が途中停止したとき

- 使用可能なSDカード(P.10)以外を使用した場合、撮影中に突然撮影が停止することがあります。
- 使用可能なSDカードでも、同じSDカードに何度も書き込みを繰り返した場合、撮影が停止することがあります。MotionSD STUDIOなどでパソコンにデータをコピーしてから、SDカードを本機でフォーマットしてください(フォーマットするとSDカード上のすべてのデータが消去されます)。

撮影する 3

オートで撮る(写真)

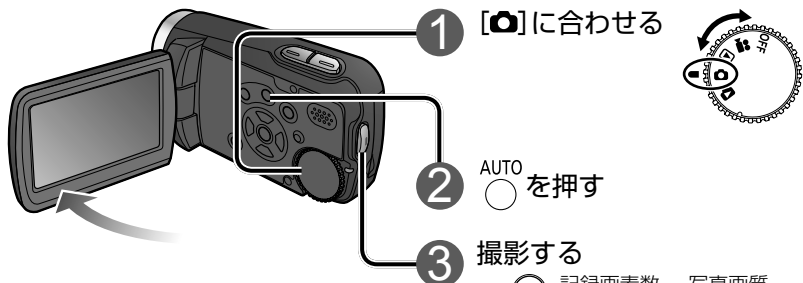
自動でピントや色あいを合わせて写真を撮影します。
バッテリーの撮影可能時間について(P.14)

撮影の前にレンズカバーを開けてください。

1 [カメラ]に合わせる

2 AUTO を押す

3 撮影する

残り記録可能枚数
(0枚になると赤点滅)

中央の被写体にピントが合います。

■シャッター音を消したいとき

➡ MENU →[お好み設定]→[シャッター効果]→[切]

■画面の表示(P.78)を消したいとき

➡ MENU →[セットアップ]→[画面表示]→[切]

●音声は記録できません。
●記録した写真を本機では「シーン」と呼びます。

写真画質

画像サイズは640×480(0.3M)です。画質によって記録枚数が変わります。

写真画質と当社製SDカード1枚あたりの記録可能枚数(目安)

SDカード容量	写真画質	
	高画質(画質優先)	標準画質(枚数優先)
8 MB	37	75
16 MB	92	185
32 MB	200	410
64 MB	430	850
128 MB	820	1,640
256 MB	1,710	3,410
512 MB	3,390	6,780
1 GB	6,790	13,580
2 GB	13,820	27,640
4 GB	27,150	54,290
8 GB	55,260	99,999※
16 GB	99,999※	99,999※

※本機は、SDカード1枚に99,999までしか記録できません。

●[標準]に設定して撮影すると、被写体によっては画像がモザイク状になることがあります。
●[高画質]、[標準]が混在している場合や、被写体によって、記録可能枚数は変わります。

■写真画質を変えたいとき

➡ MENU →[よく使う設定]→[写真画質]→[高画質]/[標準]

手ぶれしやすいときは

(写真撮影時は、手ぶれ補正機能(P.29)は使えません。)
• 本機を両手でしっかり持ち、わきをしめて構えてください。
• 4倍以上ズームすると、非常に手ぶれしやすくなります。ズーム倍率を下げて被写体に近づいて撮ることをおすすめします。
• 三脚(別売)をお試しください。

ズームする／手ぶれを防ぐ／暗いところで明るく撮る

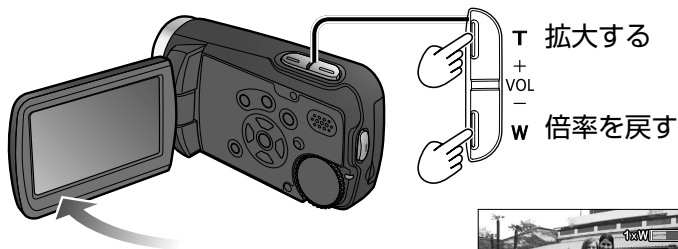
はビデオで使える機能、は写真撮影で使える機能を示しています。

拡大する(ズーム)

画質の劣化しない光学ズームで、10倍まで拡大できます。

T 拡大する
＋
VOL
－
W 倍率を戻す

ズーム倍率：1倍
約4 cm以上でピントが合います。

拡大したときは約1.0 m以上でピントが合います。

■さらに拡大したいとき

デジタルズームを使うと、最大100倍まで拡大できます。(写真撮影では使えません)

➡ MENU →[お好み設定]→[デジタルズーム]

[切]：　デジタルズームしない
[25x]：　最大25倍まで
[100x]：　最大100倍まで

- 拡大するほど画質は劣化します。
- デジタルズーム領域は、画面上のズームバーでは青で表示されます。

●ズームボタンは静かに放してください(音が記録されることがあります)。
●手持ちでズーム倍率を高くしてビデオ撮影するときは、手ぶれ補正機能をおすすめします。
●ズームする速度が速いと、ピントが合わないことがあります。
●ズームは２段速になっており、軽く押すとゆっくり、強く押すと速くズームします。

■音にズーム効果をつける(ズームマイク)

ズーム操作に連動して、拡大では遠くの音、広角では周りの音を中心に収録します。

➡ MENU →[お好み設定]→[ズームマイク]→[入]

手ぶれを防ぐ(手ぶれ補正)

➡ MENU →[お好み設定]→[手ぶれ補正]→[入]

●お買い上げ時は「入」に設定されています。
●写真撮影時、カラーナイトビュー使用時は使えません。
●蛍光灯下では明るさが変わったり、色あいが不自然になることがあります。
●次の場合は、補正が効きにくいことがあります。
- デジタルズーム使用時
- 極端に暗いとき
- ぶれが大きいとき
- 動きのある被写体を追いながら撮影したとき

薄暗いところで明るく撮る(オートスローシャッター)

暗い場所のとき、シャッター速度を自動的に遅くして、明るく撮影します。

➡ MENU →[お好み設定]→[オートスローシャッター]→[入]

●お買い上げ時は[入]に設定されています。
[ビデオ]：([入]：1/30 ～ 1/350の間で自動調整、[切]：1/60 ～ 1/350の間で自動調整)
[写真]：([入]：1/30 ～ 1/500の間で自動調整、[切]：1/60 ～ 1/500の間で自動調整)
●非常に暗い場所や、コントラストが少ないと、ピントが合わないことがあります。
●シャッター速度が1/30 ～ 1/59になったとき
- 映像がコマ落としのようになったり、残像が出る場合があります。
- []が表示されていても、手ぶれ補正は働きません。

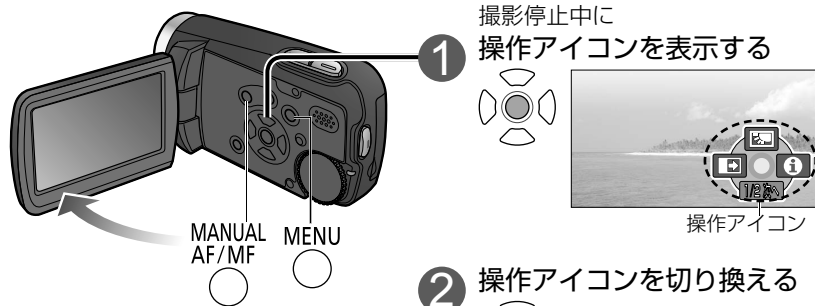
●マニュアル撮影では、シャッター速度を手動で調整できます。調整できる範囲はオートスローシャッターの設定によって変わります。(P.40)

撮影する 5 # いろいろな撮影

操作アイコンを使って、撮影効果や明るさの補正などをワンタッチで行えます。
[ビデオ] はビデオで使える機能、[写真] は写真撮影で使える機能を示しています。

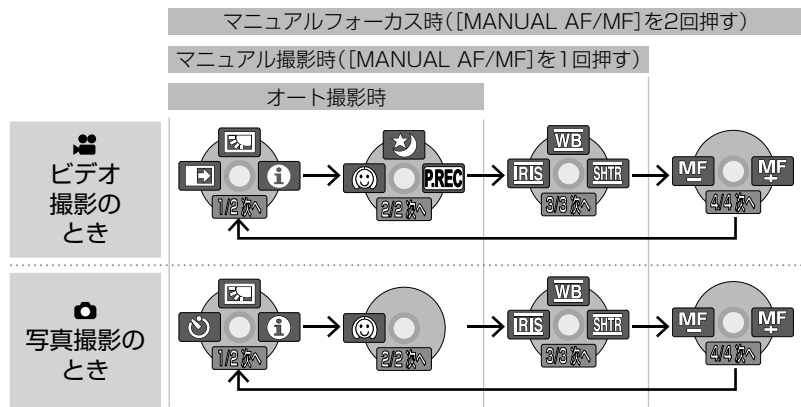
撮影停止中に
1 操作アイコンを表示する

操作アイコン

MANUAL AF/MF　MENU

2 操作アイコンを切り換える

押すたびに次のように変わります。

マニュアルフォーカス時([MANUAL AF/MF]を2回押す)
マニュアル撮影時([MANUAL AF/MF]を1回押す)
オート撮影時

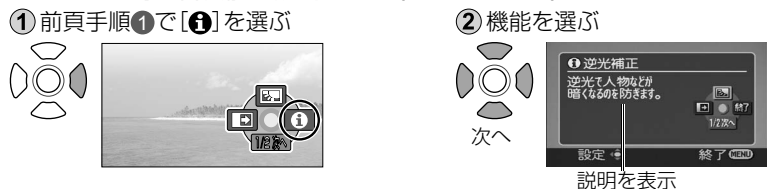
ビデオ撮影のとき
写真撮影のとき

アイコン	機能	ページ	アイコン	機能	ページ
[逆光]	逆光補正	32	P.REC	PRE-REC機能 ([ビデオ]のみ)	34
[フェード]	フェード([ビデオ]のみ)	31	WB	ホワイトバランス	38
[セルフタイマー]	セルフタイマー([写真]のみ)	32	IRIS	明るさ(絞り・ゲイン)	41
[i]	ヘルプモード	31	SHTR	シャッター速度	40
[カラーナイト]	カラーナイトビュー([ビデオ]のみ)	33	MF− MF+	マニュアルフォーカス	36
[美肌]	美肌モード	33			

■操作アイコンを消すとき ➡

オート撮影時の各機能の説明を見る(ヘルプモード)

① 前頁手順❶で[i]を選ぶ

② 機能を選ぶ

次へ
説明を表示

●終了するには、手順②で「終了」を選ぶか、[MENU]ボタンを押します。
●ヘルプモード中は、機能の設定や、撮影はできません。

[フェード] フェードイン・フェードアウト [ビデオ]

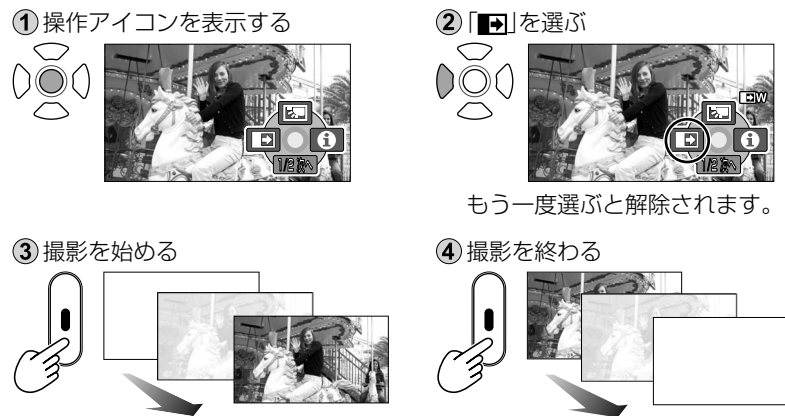
撮影の最初と最後で、映像と音声が徐々に現れたり消えたりします。

① 操作アイコンを表示する

② 「[フェード]」を選ぶ

もう一度選ぶと解除されます。

③ 撮影を始める

④ 撮影を終わる

●写真撮影では使えません。
●サムネイルは白または黒一色になります。
●撮影が終わる、または電源を切ると解除されます。

■フェードイン・フェードアウトの画面の色を白または黒に変えたいとき

➡ MENU →[お好み設定]→[フェード色]→[白] / [黒]

いろいろな撮影(つづき)

操作アイコンを使って、撮影効果や明るさの補正などをワンタッチで行えます。
[ビデオ] はビデオで使える機能、[写真] は写真撮影で使える機能を示しています。

逆光補正 [ビデオ] [写真]

逆光で被写体が暗くなるときに明るく補正します。

① 操作アイコンを表示する

② 「[逆光補正]」を選ぶ

もう一度選ぶと解除されます。

●電源を切るか、モードダイヤルを回すと解除されます。

セルフタイマー [写真]

セルフタイマーを使って写真を撮影できます。

① 操作アイコンを表示する

② 「[セルフタイマー]」を選ぶ

もう一度選ぶと解除されます。

③ 撮影する

「[セルフタイマー]」が約10秒間点滅後、撮影されます。

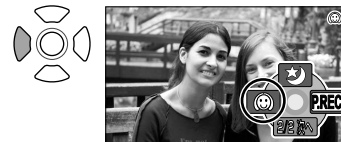
■途中で止めたいとき ➡ MENU

●ビデオ撮影では使えません。
●撮影が終わる、または電源を切ると解除されます。

美肌モード [ビデオ] [写真]

人物の顔を大きく撮るときなど、肌の色をソフトに、きれいにします。

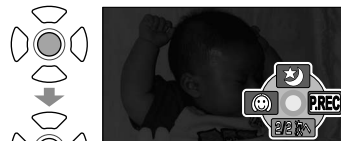
① 操作アイコンを表示する

② 「[美肌]」を選ぶ

もう一度選ぶと解除されます。

●背景などに肌色に近い色があると、その部分もなめらかになります。
●人物が小さいと顔がぼやけて映ることがあります。
●明るさが不十分なときは、効果がわかりにくいことがあります。
●電源を切っても、モードダイヤルを回しても解除されません。

カラーナイトビュー [ビデオ]

暗い場所(最低照度約2 lx)でも、カラーで浮かび上がらせて撮ることができます(映像はコマ落としのようになります)。

① 操作アイコンを表示する

② 「[カラーナイトビュー]」を選ぶ

もう一度選ぶと解除されます。

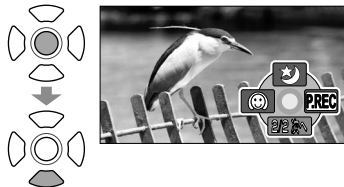
●写真撮影では使えません。
●通常は見えない小さな輝点が見えることがあります。
●三脚をおすすめします。
●ピントが合いにくいときは、マニュアルフォーカスで調整してください。(P.36)
●明るいところで使うと、しばらくの間画面が白っぽくなります。
●電源を切るか、モードダイヤルを回すと解除されます。

いろいろな撮影(つづき)

操作アイコンを使って、撮影効果や明るさの補正などをワンタッチで行えます。
[ビデオ] はビデオで使える機能、[写真] は写真撮影で使える機能を示しています。

PRE-REC機能

撮影の撮り逃しを防ぐために、撮影開始／一時停止ボタンを押す約３秒前からの映像や音声を記録します。

① 操作アイコンを表示する

② 「P.REC」を選ぶ

●液晶モニター画面に「PRE-REC」と表示されます。
●撮影開始／一時停止ボタンを押す約３秒前からの映像や音声を記録します。
●本機を被写体に向けてしっかり構えてください。
●パワーセーブ機能は働きません。
●設定中にもう一度選ぶと解除されます。
●設定後3時間以内に撮影を開始しないと解除されます。

③ 撮影を始める

●お知らせブザーは鳴りません。(P.76)
●撮影を開始するとPRE-REC機能の設定が解除されます。次にPRE-REC機能を使うときは、再度設定してください。

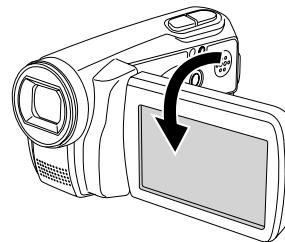
●写真撮影では使えません。
●次の場合には、PRE-REC機能が解除されます。
- モードダイヤルを切り替える。
- 電源を切る。
- カードバッテリー /カバー扉を開ける。
- メニューボタンを押す。
- USB接続ケーブルで他の機器と接続した場合

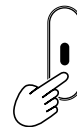
●ビデオの残り撮影可能時間が１分未満のときは、PRE-REC機能を設定できません。
●PRE-REC機能を設定してから３秒以内に撮影を開始した場合は、PRE-REC機能を設定した時点から記録されます。
●撮影開始／一時停止ボタンを押したときのカメラブレや操作音が記録される場合があります。
●フェード効果(P.31)をつけることはできません。

対面撮影機能

液晶モニターをレンズ側に回転させると、液晶モニターを見ながら自分自身を撮影することができます。

① モードダイヤルを[ビデオ]または[写真]に合わせる

② 液晶モニターを手前(レンズ側)に回転させる

●液晶モニターに映る画像が鏡のように左右反転します。(記録される映像は通常通りです)。
●画面表示が一部だけになります。[[!]]が表示されたときは、液晶にモニターを通常撮影方向に回転させて、メッセージの内容を確認してください。

③ 撮影を始める

●対面撮影時は、カーソルボタンを押しても操作アイコンが表示されません。

撮影する 6 マニュアルで撮る（ビデオ・写真）

ピントや色あい、シャッター速度や明るさを手動で設定できます。
[ビデオ] はビデオで使える機能、[写真] は写真撮影で使える機能を示しています。

1 [ビデオ]または[写真]に合わせる

2 マニュアル撮影にする

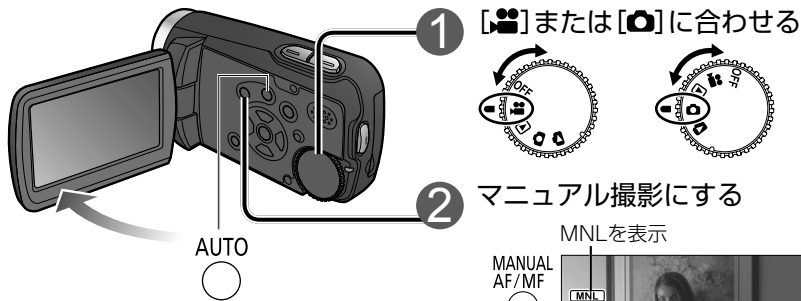
MNLを表示

操作アイコン

■オート撮影に戻したいとき

➡ AUTO

■操作アイコンを消すとき

➡ (中央ボタン)

手動でピントを合わせる（マニュアルフォーカス） [ビデオ] [写真]

オートフォーカスでピントが合いにくいときは、手動でピントを合わせてください。例えば、次のようなものを撮るときに、ピントが合いにくくなります。

- 遠くと近くのものが混在している
- キラキラと光るものが周りにある
- 動きの速いもの
- 汚れたガラスの向こうのもの
- 暗い場所
- コントラストの少ないもの

手順❶ ❷の後、

① MFを表示させる

MFを表示

② ピントを合わせる

●広角でピントを合わせてからズームすると、ピントが合わなくなることがあります。ズームしてピントを合わせると、広角にしてもピントがずれません。

■オートフォーカスに戻したいとき ➡ MANUAL AF/MF または AUTO

場面に合わせた設定を使う（シーンモード） [ビデオ] [写真]

あらかじめ用意された設定を使うことができます。

➡手順❶ ❷（前頁）の後、

MENU →[よく使う設定]→[シーンモード]→次の５種類から選ぶ

スポーツ	**すばやい動きの場面に**
• 再生時、スローや一時停止でぶれの少ない映像になります。（ただし、通常の再生では、画面の変わり方がなめらかに見えないことがあります。） • 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などは避けてください。色あいや明るさが変わることがあります。 • 光っているもの、反射の強いものは再生時に縦に光の帯が出ることがあります。 • 明るさが足りない場合は働きません。（「スポーツ」が点滅します） • 屋内で使うと画面がちらつくことがあります。	
ポートレート	**背景をぼかして人物を印象的に**
• 屋内で使うと画面がちらつくことがあります。 • 光っているもの、反射の強いものは再生時に縦に光の帯が出ることがあります。	
ローライト	**夕暮れなど暗い場面で明るく**
• 極端に暗い場面ではうまく働かないことがあります。	
スポットライト	**スポットライトが当たる人物などに**
• 被写体が極端に明るいと、映像が白っぽくなることがあります。また、周囲が極端に暗くなることがあります。	
サーフ& スノー	**海辺やスキー場などまぶしい場面で**
• 被写体が極端に明るいと、映像が白っぽくなることがあります。	

選んだシーンモードのアイコンを表示

■解除したいとき

➡ MENU →[よく使う設定]→[シーンモード]→[切]または AUTO

マニュアルで撮る（ビデオ・写真）（つづき）

ピントや色あい、シャッター速度や明るさを手動で設定できます。
[ビデオ] はビデオで使える機能、[写真] は写真撮影で使える機能を示しています。

色あいを自然に（ホワイトバランス）

色あいが不自然なときに、光源に合わせて自然な色に調整します。
手順❶ ❷(P.36)の後、

① 「WB」を選ぶ

② モードを切り換える

モードを表示

カーソルボタンを押すごとにモードが以下のように切り替わります。

AWB→屋内→屋外→蛍光灯→手動

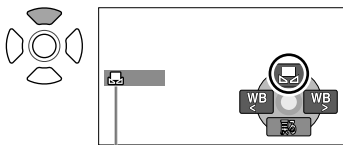
AWB	オート	自動で調整（オートホワイトバランス）
屋内	屋内（白熱電球）	白熱電球やハロゲンランプのとき
屋外	屋外	屋外の晴天下のとき
蛍光灯	蛍光灯	蛍光灯（当社のパルック蛍光灯など）のとき
手動	手動で設定する（下記）	AWB、屋内、屋外、蛍光灯では調節できないときに。（水銀灯、ナトリウム灯、蛍光灯、ホテルのライト、スポットライト、日没、日の出など）

手動で設定する

撮影したい光源の下で白いものを映して色を合わせます。

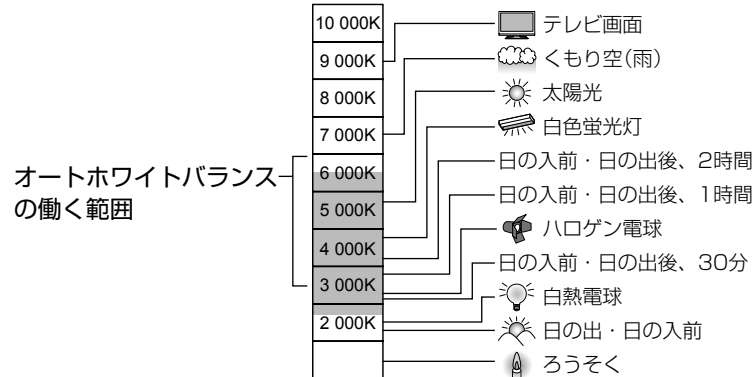
① [手動]に切り換える

[手動]が点滅

② 白い被写体を画面いっぱいに写し、設定を開始する

点滅から点灯になると設定完了

- 設定開始後、[手動]が点滅し続ける場合は設定できません。（周囲が暗すぎるなどのため）
- 撮影中に[手動]が点滅している場合は、現在の被写体での調整が完了していません。正確に合わせるために設定し直してください。

■自動調整に戻したいとき ➡ [AWB]に切り換える、または AUTO ◯

●ホワイトバランスと絞り・ゲインの両方を設定するときは、先にホワイトバランスを設定してください。

範囲外では、映像が赤っぽくなったり、青っぽくなったりします。また、範囲内にあっても、光源が複数の場合は、正常に働かない場合があります。この場合、手動で調整してください。

マニュアルで撮る（ビデオ・写真）（つづき）

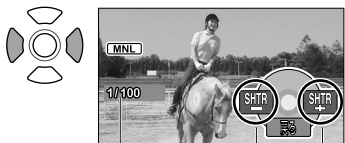
ピントや色あい、シャッター速度や明るさを手動で設定できます。
[ビデオ] はビデオで使える機能、[写真] は写真撮影で使える機能を示しています。

シャッター速度を調整する（シャッター速度）

動きの速いものを撮るときなどに、シャッター速度を調整します。

手順❶ ❷(P.36)の後、

① 「SHTR」を選ぶ

② シャッター速度を調整する

シャッター速度
SHTR－：遅く
SHTR＋：速く

シャッター速度の調整範囲

※ オートスローシャッター(P.29)が「入」のときは、1/30 〜の調整範囲になります。

- シャッター速度と明るさ（絞り・ゲイン）の両方を調整するときは、先にシャッター速度を調整してください。
- シャッター速度を速くすると、ノイズが増えることがあります。（感度が低くなり、自動でゲイン値が上がるため）
- 光っているもの、反射の強いものは再生時に縦に光の帯が出ることがあります。
- 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などは避けてください。色あいや明るさが変わることがあります。
- 通常の再生では、画面の変わり方がなめらかに見えないことがあります。
- 極端に明るい場所を撮ると、色が変わったりチカチカすることがあります。1/60 〜 1/100の間で調整してください。

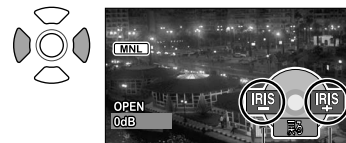
■自動調整に戻したいとき ➡ AUTO

明るさを調整する（絞り・ゲイン）

暗すぎるときや、明るすぎるときに、絞りとゲイン（感度）を調整します。

手順❶ ❷(P.36)の後、

① 「IRIS」を選ぶ

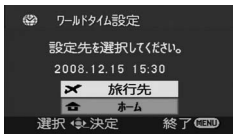
② 明暗を調整する

IRIS－：暗く
IRIS＋：明るく

絞り・ゲイン値の調整範囲

- ズーム倍率によって表示されない絞り値（F値）があります。
- ゲイン値を上げるとノイズが増えます。

■自動調整に戻したいとき ➡ AUTO

便利な機能

旅行先の日時を記録したり、ガイドラインを表示したり、風の音を防いだりできます。
[ビデオ] はビデオで使える機能、[写真] は写真撮影で使える機能を示しています。

海外旅行先の日時で記録する(ワールドタイム) [ビデオ] [写真]

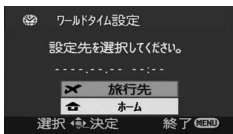
旅行先を設定すると、自動的に時差を計算して表示します。
あらかじめ日時の設定(P.20)が必要です。

➡ MENU →[よく使う設定]→[ワールドタイム設定]→[する]

初回設定時に、[ホームを設定してください。]と表示されたときはカーソルボタンの中央を押して「お住まいの都市・地域を設定する」の手順②へ進んでください。

お住まいの都市・地域を設定する

①「ホーム」を選ぶ

② 都市・地域を設定する

サマータイムを設定する[]：
(時計が1時間進みます)
(もう一度押すと解除)

③ メニューを閉じる
MENU

旅行先の都市・地域を設定する

①「旅行先」を選ぶ

② 都市・地域を設定する

サマータイムを設定する[]：
(時計が1時間進みます)
(もう一度押すと解除)

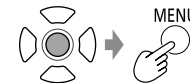
③ メニューを閉じる
MENU

■キャンセルしたいとき ➡ MENU

- 旅行先設定時に旅行先の都市・地域が表示されない場合は、「ホームとの時差」が近いものを選んでください。
- 旅行先に設定すると、撮影時日時表示の前に[✈]が表示されます。

旅行から戻ったらホームの日時に戻す

①「お住まいの都市・地域を設定する」の①を行う(P.42)

② 地図とメニューを閉じる

傾きや構図を見る(ガイドライン) [ビデオ] [写真]

ガイドラインを表示して、映像の傾きを確認したり、構図のバランスの目安にします。

➡ MENU →[よく使う設定]→[撮影ガイドライン]→[入]

- お買い上げ時は[切]に設定されています。
- ガイドラインは記録されません。
- 対面撮影時(P.35)にはガイドラインは表示されません。

風の音を防ぐ(風音低減) [ビデオ]

マイクに当たる風の音を低減します。

➡ MENU →[お好み設定]→[風音低減]→[入]

- お買い上げ時は[入]に設定されています。
- 風の強さに応じて自動的に風音を低減するため、強風下ではステレオ感が弱くなります。

ビデオを見る

撮影したビデオ(シーン)を再生します。
SDカードにアクセス中(カード動作中ランプ点灯中)は、SDカードを抜かないでください。

❶ [▶]に合わせる

サムネイルが表示されます。

❷ 見たいシーンを選ぶ

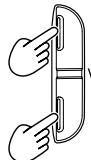
次のページに移動するには：カーソルボタンの左右を押し続ける、または、[＜]、[＞]を選び、カーソルボタンの中央を押す

❸ 決定する

■サムネイルを速く移動したいとき

押し続けるとシーン番号だけが早送りされる

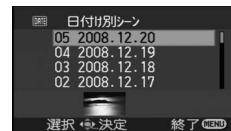
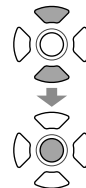
見たいところにきたらカーソルボタンを放します。

■音量を調整したいとき

T(+)側　：大きくなる
W(−)側　：小さくなる

- 音声は通常再生時のみ出ます。
- 調整中は画面に音量表示が表示されます。

日付別にサムネイルを表示する

❶ 手順❷(P.44)で[DATE]を選ぶ

❷ 表示したい日付を選ぶ

❸ その日に撮ったものだけが表示される

[DATE]を表示

同じ日に撮影したものが99を超えると、分かれて表示されます。

■日付別表示をやめるとき(すべて表示するとき)

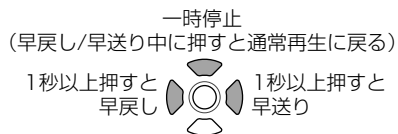
➡ 上記手順❸で[ALL]を選んでカーソルボタンの中央を押す。

- ●本機はSDビデオ標準に準拠しており、MPEG2形式のものが再生できます。「MPEG」とは「Moving Pictures Experts Group」の略で、1秒間30コマの圧縮動画フォーマットです。
- ●他機で撮影したものは、正しく再生できないことがあります。また、本機で撮影したシーンは他機で正しく再生できないことがあります。
- ●サムネイルに[[!]]が表示されたシーンは再生できません。
- ●記録時間が短いシーンは再生できない場合があります。
- ●バッテリー使用でパワーセーブ(P.76)が「5分」のとき、一時停止が約5分続くと、電源が切れます。
- ●液晶モニターを閉じても、電源は切れません。
- ●日時表示は撮影開始／一時停止ボタンを押したときの日時が記録されます。PRE-REC機能を使って記録した場合のサムネイル画像の日時表示や再生動画の日時表示は、数秒間遅れた日時が表示されます。

ビデオを見る(つづき)

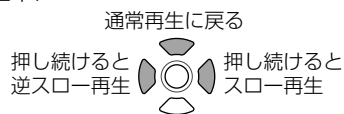
早送りする・早戻しする

再生中に

一時停止
(早戻し/早送り中に押すと通常再生に戻る)
1秒以上押すと早戻し
1秒以上押すと早送り

●もう一度押すと早送り(早戻し)の速度が速くなります。
画面上部の[▶▶] / [◀◀] (6倍速)が[▶▶▶] / [◀◀◀] (18倍速)に変わります。

スロー再生する

再生一時停止中に

通常再生に戻る
押し続けると逆スロー再生
押し続けるとスロー再生

●1/5倍速になります。

コマ送り再生する

再生一時停止中に

通常再生に戻る
押すと1コマ戻る
押すと1コマ進む

続きから再生する

再生を途中で止めた場合、続きから再生することができます。

➡ MENU →[セットアップ]→[続きから再生]→[入]

●再生を途中で止めたシーンのサムネイルに「R」が表示されます。
●続きの位置の記憶は、モードダイヤルなどを回すと解除されます。(メニュー設定は変わりません)
●SDカードが書き込み禁止にされていると、[続きから再生]は[切]に設定されます。

写真を見る

撮影した写真(シーン)を再生します。
SDカードにアクセス中(カード動作中ランプ点灯中)は、SDカードを抜かないでください。

❶ [▶]に合わせる

サムネイルが表示されます。

❷ 見たいシーンを選ぶ

選んだシーンに黄色の枠

シーン番号

次のページに移動するには：カーソルボタンの左右を押し続ける、または、[<]、[>]を選び、カーソルボタンの中央を押す

❸ 決定する

■サムネイルを速く移動したいとき

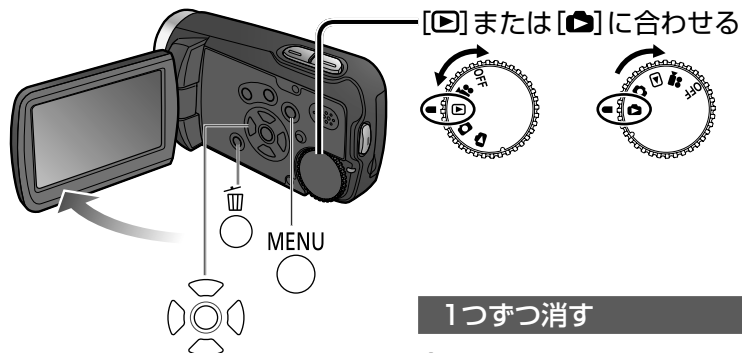
押し続けるとシーン番号だけが早送りされる

見たいところにきたらカーソルボタンを放します。

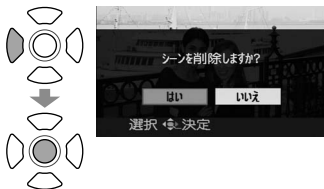
●本機は社団法人電子情報技術産業協会(JEITA)が制定した統一規格DCFに準拠しており、JPEG形式のものが再生できます。(JPEG形式でも再生できないものもあります)
●他機で撮影したものは、正しく再生できないことがあります。また、本機で撮影したシーンは他機で正しく再生できないことがあります。
●サムネイルに[[!]]が表示されたシーンは再生できません。
●記録画素数によっては、写真の表示に時間がかかる場合があります。
●バッテリー使用でパワーセーブ(P.76)が「5分」のとき、一時停止が約5分続くと、電源が切れます。
●液晶モニターを閉じても、電源は切れません。
●スライドショー中は、モードダイヤルを回さないでください。

🗑 消す(ビデオ・写真)

一度消したシーンは元に戻せません。
消したくないシーンはロック(P.50)しておくと誤消去を防げます。

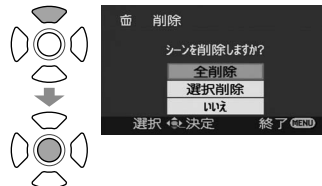
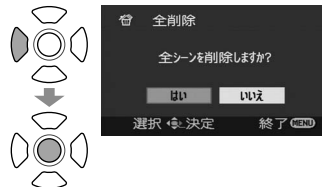
十分に充電されたバッテリー、またはACアダプターをお使いください。
削除中に電源を切ったり、カード/バッテリー扉を開けないでください。

1つずつ消す

① 消したいシーンを再生中に

② [はい]を選ぶ

- ●ビデオのみ、メニューから削除することもできます。(P.74 [シーン編集]の[削除])
- ●サムネイルに[[!]]が表示されたものなど、再生できないものは消せません。(他機で記録した、JPEG形式でない写真も削除できることがあります)
- ●他の機器で記録したシーンを本機で削除すると、管理情報などの関連情報も削除される場合があります。
- ●DCF規格に準拠した写真を削除すると、管理情報などの関連情報はすべて削除されます。

すべて消す

① サムネイルを表示中に

② [全削除]を選ぶ

③ [はい]を選ぶ

④ 終わる

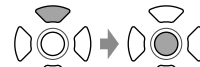
削除する数によっては時間がかかります。

■ **削除を途中で止めたいとき** ➡ MENU

キャンセル実行前にすでに消えたものは元に戻せません。

複数選んで消す

① サムネイルを表示中に

② [選択削除]を選ぶ

③ 消したいものを選ぶ

選んだものに赤色の枠

- もう一度選ぶと選択を解除します。
- 50枚まで選べます。

④ 削除する

⑤ メッセージが出たら[はい]を選ぶ

続けて削除したいときは③〜⑤を繰り返します。

⑥ 終わる

■ **削除を途中で止めたいとき** ➡ MENU

キャンセル実行前にすでに消えたものは元に戻せません。

編集する 2

フォーマットする／誤消去を防ぐ（ビデオ・写真）

フォーマットする

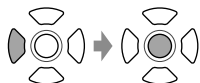
SDカードをフォーマットすると、ロックしたものも含めてすべてのデータは削除され、元に戻すことができません。大切なデータはあらかじめMotionSD STUDIOなどを使ってパソコンなどに保存しておいてください。

① メニューを設定する（P.18）

MENU →[セットアップ]→[カードフォーマット]→[する]

② メッセージが出たら[はい]を選ぶ

③ 終わる

MENU

- **十分に充電されたバッテリー、またはACアダプターを使用してください。また、フォーマット中は電源を切ったり、カード／バッテリー扉を開けないでください。**
- フォーマットは本機で行ってください。パソコンなど他の機器でフォーマットすると、記録に時間がかかったり、本機で使用できなくなる場合があります。
- ご使用のSDカードによってはフォーマットに時間がかかる場合があります。

誤消去を防ぐ

大切なシーンをロックしておくと、誤消去を防げます。
SDカードをフォーマットすると、ロックしていても消えます。

① モードダイヤルを[▶]または[📷]に合わせる

② メニューを設定する（P.18）

MENU →[シーン編集]（写真のときは[写真の管理]）→[ロック設定]→[する]

③ ロックするシーンを選ぶ

選んだものに[O┳]を表示

- もう一度押すと選択を解除します。
- 複数選べます。

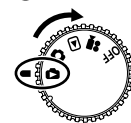
④ 終わる

MENU

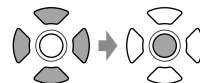
編集する 3

DPOF設定する（写真）

DPOFとはDigital Print Order Formatの略で、どの写真を何枚印刷するのかをSDカードに書き込めます。DPOF対応のプリンターやお店で利用できます。

① [📷]に合わせる

② メニューを設定する（P.18）

MENU →[写真の管理]→[DPOF設定]→[設定]

③ 印刷する写真を選ぶ

④ 枚数を設定する

印刷する枚数（999枚まで）

印刷しないときは「0」枚にします。

⑤ 終わる

MENU

■設定をすべて解除したいとき

➡ MENU →[写真の管理]→[DPOF設定]→[全て解除]

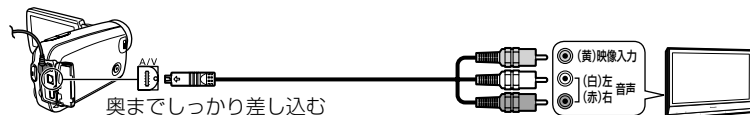
メッセージが出たら[はい]を選ぶ。

- 手順③と④を繰り返すと、最大999シーンまで選択できます。
- 日付プリントを設定することはできません。
- 他の機器で行ったDPOF設定は、認識しないことがあります。必ず本機で行ってください。

他の機器で 1 テレビで見る

本機で撮ったビデオや写真をテレビ画面で再生できます。テレビ側の設定については、テレビの取扱説明書をご覧ください。

① 本機とACアダプターを接続し(P.12)、モードダイヤルを[▶]または[📷]に合わせる

② 本機とテレビを映像・音声コード(付属)で接続する

③ テレビの入力を切り換える
(「ビデオ1」や「入力1」など、接続する端子によって変わります。)

④ 本機でビデオや写真を再生する(P.44, 47)

■テレビ画面に液晶モニターの情報を表示するとき

➡ MENU ◯ →[セットアップ]→[外部表示]→[入]

• 日時やアイコンを表示したくないとき(P.20, 24)

●必ず、付属の映像・音声コードをお使いください。付属品以外をお使いの場合は動作を保証しません。
●映像や音声が出力されないときは、以下を確認してください。
• ケーブルが奥まで差し込んであるか
• 接続している端子が正しいか
• テレビの入力設定、入力切換が正しいか
●ワイドテレビで正しく表示されない場合、テレビ側で画面表示の設定を調整してください。
●4：3のテレビで映像が縦長になるとき

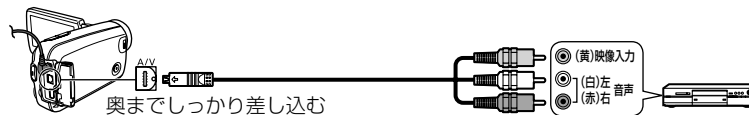
➡ MENU ◯ →[セットアップ]→[接続するテレビ]→[4：3]

他の機器で 2 ビデオレコーダーやDVDレコーダーにダビングする

本機で撮ったビデオをビデオレコーダーやDVDレコーダー(以下「録画機器」と表記)にダビングができます。録画機器側の設定については、録画機器の取扱説明書をご覧ください。

映像・音声コード(付属)を使ってダビングする

① 本機とACアダプターを接続し(P.12)、モードダイヤルを[▶]に合わせる

② 本機と録画機器を映像・音声コード(付属)で接続する

③ 録画機器とテレビの入力を切り換える
(録画機器「L1」や「L2」など、テレビ「ビデオ1」や「入力1」など、接続する端子によって変わります。)

④ 本機でビデオを再生し(P.44)、録画機器で録画を始める

⑤ 録画機器の録画停止後、本機の再生を停止する

●必ず、付属の映像・音声コードをお使いください。付属品以外をお使いの場合は動作を保証しません。
●ダビングしたビデオをワイドテレビで再生すると、縦に引き伸ばされた映像になる場合があります。この場合は、ダビングした録画機器の取扱説明書を確認してください。またはワイドテレビの取扱説明書をご覧になり、ワイドに設定してください。

SDカードスロット付きDVDレコーダーでダビングする

SDカードスロット付きのDVDレコーダーでは、本機で撮ったSDカードを入れ、HDDやDVDディスクにコピーできるものもあります。

① 本機の電源を切った後、撮影済みのSDカードを取り出す(P.15)

② DVDレコーダーのSDカードスロットにSDカードを入れる

●詳しくは、DVDレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
●本機で撮ったビデオをHDDやDVDディスクにダビングした場合、ビデオフォーマットが変換されます。変換されたビデオは、DVD-Rへの高速コピーができなくなります。また、パソコンなどを使ってSDカードへ書き戻した場合、本機での再生はできなくなります。

PictBridgeプリンターで印刷する(写真)

PictBridge対応のプリンターに直接接続して、印刷ができます。

① 本機とACアダプターを接続し(P.12)、モードダイヤルを[OFF]以外に合わせる

② 本機とプリンターをUSB接続ケーブル(付属)で接続する

③ [PictBridge]を選ぶ

④ 印刷する写真を選ぶ

⑤ 枚数を設定する

印刷する枚数(最大9枚)

- 印刷しないときは、0枚に設定します。
- 手順④と⑤を繰り返すと、最大8シーンまでの写真が選べます。

⑥

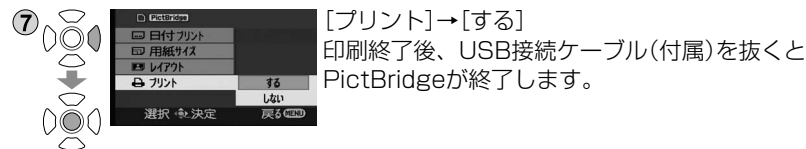
PictBridgeメニューを表示する
印刷の各種設定を行います。

■印刷の各種設定

項目	設定
日付プリント	切／入
用紙サイズ	標準： プリンターの設定を優先 L： L版サイズ 2L： 2L版サイズ ハガキ：はがきサイズ A4： A4サイズ
レイアウト	標準： プリンターの設定を優先 [ ]： ふちなしプリント [ ]： ふちありプリント

● プリンターが対応していない項目は選べません。

⑦

[プリント]→[する]
印刷終了後、USB接続ケーブル(付属)を抜くとPictBridgeが終了します。

■印刷を中止したいとき

確認のメッセージが表示されます。
[はい] ： 印刷設定は解除され、手順④に戻る。
[いいえ]： 手順④～⑦までの印刷設定は保持され、手順④に戻る。

●必ず、付属のUSB接続ケーブルをお使いください。付属品以外をお使いの場合は動作を保証しません。
●USBハブは使用せず、直接接続してください。
●用紙サイズや印刷品質など、プリンター側の設定を確認してください。
●印刷中には、下記の操作をしないでください。正しく印刷できません。
- USB接続ケーブルを抜く
- カード／バッテリー扉を開く
- モードダイヤルを回す
- 電源を切る

●他の機器で撮影した写真は、印刷できない場合があります。
●本機をPictBridge対応プリンターに直接接続しているときは、DPOF設定(P.51)は利用できません。

他の機器で 4

DVDバーナー(別売)を使う

別売のDVDバーナーを使うと、本機で撮ったビデオや写真をディスクにコピーできます。

■必要な機器

- DVDバーナー／ VW-BN1
- ミニAB USB接続ケーブル(DVDバーナーに同梱)

当社製DVDバーナー VW-BN1を推奨します。(2008年3月現在)
当社で動作確認したDVDバーナー(DVD MULTIドライブ)についての最新情報は下記サポートサイトをご確認ください。
http://panasonic.jp/support/video/connect/

■使用できるディスク：12 cmのディスク

ビデオまたは写真	DVD-RAM	新品または使用済みのもの
	DVD-R、DVD-R DL	新品のみ
ビデオのみ	DVD-RW※	新品または使用済みのもの
写真のみ	CD－RW	新品または使用済みのもの
	CD-R	新品のみ

※DVD-RWのフォーマット形式は「ビデオフォーマット」です。

- +RW、+R、+R DLディスクや8 cmのディスクは使用できません。
- 使用済みのディスクは、コピーする前にディスクの内容がすべて削除されます。必要なデータか確認してから使用してください。
- コピーが終了すると自動的にファイナライズされ、再生専用ディスクになります。同じディスクに後からビデオや写真の追加コピーはできません。
- 下記についてはDVDバーナーの取扱説明書をご覧ください。
  - 推奨ディスクやディスクの取り扱い
  - DVDバーナーとミニAB USB接続ケーブルの接続
  - DVDバーナー本体の操作

■コピーに必要な時間(目安)

(VW-BN1を用いて4 GBのビデオをディスク1枚にコピーした場合)

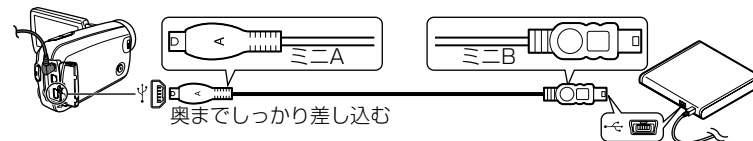
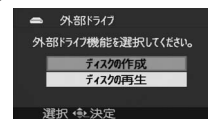
ディスクの種類	DVD-RAM	DVD-RW	DVD-R
コピー時間	約40 ～ 90分	約30 ～ 60分	約15 ～ 60分

- 記録されているシーンの数やディスクの種類、コピーに必要なディスクの数、周辺温度によって、コピーにかかる時間は変わります。
- DVD-R DLではDVD-Rの1.5倍～ 2倍程度かかる場合があります。
- コピーしたデータを検証するため、記録時間よりも長くかかることがあります。コピー完了のメッセージが出るまでお待ちください。

本機とDVDバーナーを接続する

① DVDバーナーとDVDバーナーに付属のACアダプターを接続する

② 本機とACアダプターを接続し(P.12)、モードダイヤルを[OFF]以外に合わせる

③ 本機とDVDバーナーをミニAB USB接続ケーブルで接続する

④ DVDバーナーにディスクを入れる

[外部ドライブ]画面

- 接続されると、本機の液晶モニターに[外部ドライブ]画面が表示されます。表示されない場合、ミニAB USB接続ケーブルを接続し直してください。
- 本機にDVDバーナーを接続してからディスクを入れてください。

- 必ず、DVDバーナー(別売)に付属のミニAB USB接続ケーブルをお使いください。それ以外をお使いの場合は動作を保証しません。
- USBハブは使用せず、直接接続してください。
- 本機とDVDバーナーは、必ず、各機器専用のACアダプターを接続してください。本機からDVDバーナーにUSB接続で電源を供給することはできません。また、バッテリー使用では、本機とDVDバーナーを接続して使うことはできません。
- DVDバーナーにディスクが入っている状態で本機と接続すると、「しばらくお待ちください。」が1分以上表示された後、「接続機器の確認ができませんでした。本機側のUSBケーブルを抜いてください。」と表示される場合があります。その場合は、一度本機からミニAB USB接続ケーブルを外した後、DVDバーナーからディスクを取り出し、ディスクが裏返っていないかどうか、また使用可能なディスクかどうかを確認してください。
- 「ディスク読み込み中です。」が2分以上表示される場合は、DVDバーナーからディスクを取り出し、ディスクが裏返っていないかどうか、また使用可能なディスクかどうかを確認してください。

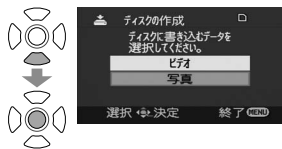
DVDバーナー(別売)を使う(つづき)

別売のDVDバーナーを使うと、本機で撮ったビデオや写真をディスクにコピーできます。

写真は全シーンを一度にコピーします。ビデオは全シーンコピーの他に、シーンや日付を選んでコピーできます。

写真をディスクにコピーする

① [外部ドライブ]画面(P.57)で[ディスクの作成]を選ぶ

② [写真]を選ぶ

写真のコピーが始まります。以降、画面の指示に従って操作してください。

■キャンセルするには

MENU を押すと、[外部ドライブ]画面に戻ります。

●コピー終了後、同じ内容で別のディスクの作成ができます。

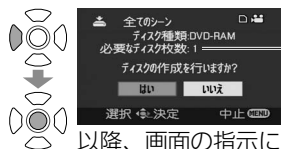
すべてのビデオをディスクにコピーする

① [外部ドライブ]画面(P.57)で[ディスクの作成]を選ぶ

② [ビデオ]→[簡単DVD]→[全てのシーン]または[追加シーン]を選ぶ

[全てのシーン]：すべてのビデオをコピーします。

[追加シーン]：「簡単DVD」でコピーを行った後に追加撮影したビデオ([☑]が表示されていないビデオ)を別のディスクにコピーします。

③ [はい]を選ぶ

コピーに必要なディスク数が表示されます。ディスクが2枚以上必要な場合、画面の指示に従ってディスクを入れ換えてください。

以降、画面の指示に従って操作してください。

■キャンセルするには

MENU を押すと、[外部ドライブ]画面に戻ります。

●[簡単DVD]でコピー済みのビデオのサムネイルには、[☑]が表示されます。[☑]が表示されているビデオは一括削除ができます。(P.61)

●コピー終了後、同じ内容で別のディスクの作成ができます。

選んだビデオをディスクにコピーする

① [外部ドライブ]画面(P.57)で[ディスクの作成]を選ぶ

② [ビデオ]→[お気に入りDVD]→[シーン選択]または[日付選択]を選ぶ

■シーン選択

③ サムネイルを選ぶ

選んだサムネイルが赤枠で囲まれます。再度カーソルボタンの中央を押すと解除されます。

④ 確定する

[開始]を選ぶと確認画面が表示されます。

■日付選択

③ 日付を選ぶ

選んだ日付が赤枠で囲まれます。再度カーソルボタンの中央を押すと解除されます。

④ 確定する

押すと、確認画面が表示されます。

⑤ コピーを開始する

[はい]を選び、画面の指示に従って操作してください。

■キャンセルするには

MENU を押すと、[外部ドライブ]画面に戻ります。

●複数選ぶときは、手順③を繰り返します。「シーン選択」は50シーンまで、「日付選択」は50日まで選べます。

●[シーン選択]の場合、1枚のディスクにコピーします。ビデオの合計サイズがディスク容量を超過した場合、「ディスクの残量」が赤くなり、超過した容量が表示されます。1枚のディスク容量に収まるようにシーンを選んでください。

●[日付選択]の場合、コピーに必要なディスク数が表示されます。ディスクが2枚以上必要な場合、画面の指示に従ってディスクを入れ換えてください。

●コピー終了後、同じ内容で別のディスクの作成ができます。

DVDバーナー(別売)を使う (つづき)

別売のDVDバーナーを使うと、本機で撮ったビデオや写真をディスクにコピーできます。

■DVDバーナーを使ったコピーについて

- コピー終了後、SDカード内のデータを削除する前に、ディスクを再生して正常にコピーされているか確認してください。(P.61)
- コピー中は、本機やDVDバーナーの電源を切ったり、ミニAB USB接続ケーブルを抜いたりしないでください。また、本機やDVDバーナーに振動を与えないでください。
- コピー中はディスクを取り出せません。
- 撮影した順番でコピーされます。コピーする順番を変えることはできません。
- 複数のSDカードから1枚のディスクへのコピーはできません。
- 1枚のディスクにビデオと写真を混在させてコピーすることはできません。
- 1枚のディスクにコピーできる写真は、最大9,999シーンまでです。
- コピーに必要なディスクが2枚以上になる場合、各ディスクに入りきらないシーンは、次のディスクにコピーされます。
- DVDバーナーでディスクにコピーされたファイルの日時は、コピー時の日時が記録されます。また、コピーされたファイルの日時は、使用するPCソフトに依っては正しく表示されない場合があります。
- 同梱のソフトウェアを使ってSDカードに書き戻したビデオは、DVDバーナーでディスクにコピーできません。
- 他機で記録したデータはコピーできない場合があります。また、コピーできても正しく再生できない場合があります。
- パソコンなどでSDカードに写真をコピーした場合、本機で表示されないものは、ディスクにコピーできません。
- 再生機器によっては、本機とDVDバーナーをつないで作成したディスクを再生できないことがあります。
- 本機とDVDバーナーを接続して作成したディスクをDVDレコーダーに入れると、フォーマットを促すメッセージが表示されることがありますが、大切なデータが削除され元に戻すことはできませんので、フォーマットしないでください。
  詳しくはDVDレコーダーの取扱説明書をお読みください。

ディスクを再生する

① [外部ドライブ]画面(P.57)で[ディスクの再生]を選ぶ

② サムネイルを選んで再生する

詳しくは、下記のページを参照してください。
- ビデオを見る(P.44)
- 写真を見る(P.47)

■キャンセルするには

MENU を押すと、[外部ドライブ]画面に戻ります。

- 他機でビデオと写真をコピーしたディスクを、本機で再生する場合、ビデオのみ再生できます。他機で記録したディスクは再生できない場合があります。

終了する

① [外部ドライブ]画面を表示する(P.57)

② DVDバーナーからディスクを取り出す

③ ミニAB USB接続ケーブルを外す

コピー済みのビデオを消す

[☑]が表示されているビデオを一括削除します。

① 本機のモードダイヤルを[▶]に合わせる

② メニューを設定する(P.18)

MENU →[シーン編集]→[削除]→[コピー済み削除]→[はい]

③ 終わる

パソコンで 1 CD-ROM内のソフトウェア

付属のCD-ROMには、下記のソフトウェアが入っています。
このCD-ROMは、Windowsパソコンでのみ使用できます。

■ビデオ編集ソフト　MotionSD STUDIO 1.3J

本機からのビデオや写真の取り込み、編集、出力を行うことができるソフトウェアです。
また、取り込んだビデオや写真を電子メールで送ったり、編集した画像をDVDディスクに記録することができます。
MotionSD STUDIOの使い方は取扱説明書(PDFファイル)をお読みください。

■DirectX（Windows 2000の場合）

MotionSD STUDIOを使用するためには、Microsoft DirectX 9.0bまたは9.0cが必要です。
お使いのパソコンにインストールされていない場合は、次の方法でインストールしてください。

- MotionSD STUDIOのインストール時にインストールする。
- セットアップメニューの[DirectX]をクリックしてインストールする。

●お使いの環境によっては、DirectX 9.0bまたは9.0cのインストールで、旧バージョンのDirectXに対応したソフトウェアが正常に動作しなくなる場合があります。この場合、動作しなくなったソフトウェアの製造元にお問い合わせください。(お使いのパソコンがDirectX 9.0bまたは9.0cに対応している必要があります)

●付属のソフトウェア以外での本機の動作は保証しません。

パソコンで 2 必要な動作環境

次の性能を満たしたパソコンが必要です。
●推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
●NEC PC-98シリーズとその互換機では動作保証しません。
●Windows 3.1、Windows 95、Windows 98、Windows 98 SE、Windows MeおよびWindows NTには対応していません。
●OSのアップグレード環境での動作は保証しません。

■MotionSD STUDIOに必要な動作環境

項目	内容
対応パソコン	IBM PC/AT互換機
対応OS	プリインストールされた各日本語版 Microsoft® Windows® 2000 Professional Service Pack 4 Microsoft® Windows® XP Professional/Home Edition Service Pack 2 Microsoft® Windows Vista® Business/Home Premium/Home Basic
CPU	Intel® Pentium® III 800 MHz 以上 (互換CPUを含む。Intel® Pentium®4 1.6 GHz以上を推奨)
メモリ	Windows 2000 / XP : 256 MB 以上(512 MB以上を推奨) Windows Vista : 512 MB 以上(1 GB以上を推奨)
ハードディスク	Ultra DMA-33 以上(Ultra DMA-100以上を推奨) インストール 640 MB以上の空き容量(DVD書き込み時は、作成するディスクと同じ容量の空きが必要です。)
ディスプレイ	High Color (16 bit)以上(32 bit以上を推奨) クリップ領域1024×768以上(1280×1024以上を推奨) DirectX® 9.0b, 9.0cに対応したビデオカード DirectDraw®のオーバレイに対応
サウンド	Windows互換サウンドデバイス(DirectSound®対応)
ドライブ	CD-ROMドライブ(インストールに必要) • DVD書き込みには対応したドライブとメディアが必要です。
インターフェース	USB端子(ハイスピードUSB (USB2.0)を推奨)
その他	マウスまたはマウスと同等のポインティングデバイス
必要なソフトウェア	DirectX® 9.0bまたは9.0c (Windows® XP SP2では9.0cがインストール済み) DirectX® 10 (Windows Vista® ではインストール済み) • 上記DirectX®に対応していないパソコンにインストールすると、パソコンが正常に動作しなくなる可能性があります。対応状況がわからない場合は、ご使用のパソコンメーカーへお問い合せください。 Microsoft® Windows Media® Player 6.4 ～ 11

必要な動作環境(つづき)

- 付属のCD-ROMはWindows専用です。
- 1台のパソコンに2台以上のUSB機器を接続している場合や、USBハブやUSB延長ケーブルで接続した場合は、動作を保証しません。
- マルチブート環境には対応していません。
- マルチCPU環境には対応していません。
- Windows XP Media Center Edition、Tablet PC Editionおよび64bitのオペレーティングシステムでの動作は保証しません。

■外部ドライブとして必要な動作環境

対応パソコン	IBM PC/AT互換機
対応OS	プリインストールされた各日本語版 Microsoft® Windows® 2000 Professional Service Pack 4 Microsoft® Windows® XP Home Edition/Professional Microsoft® Windows® Vista Home Basic/Home Premium/Ultimate/Business/Enterprise
CPU	Windows 2000 / Windows XPの場合： Intel® Pentium® III 450 MHz以上または Intel® Celeron® 400 MHz以上 Windows Vistaの場合： Intel® Pentium® 4 1.6 GHz以上の32ビット(x86)のプロセッサ
メモリ	Windows 2000 / Windows XP の場合： 128 MB以上(256 MB以上を推奨) Windows Vistaの場合： Home Basic：512 MB以上 Ultimate、Business、Home Premium、Enterprise：1 GB以上
インターフェース	USB端子
その他	マウスまたはマウスと同等のポインティングデバイス

- Microsoft®、Windows®、Windows Vista®、Windows Media®、DirectX®、DirectDraw®およびDirectSound®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- IBM®およびPC/ATは米国 International Business Machines Corporationの登録商標です。
- Intel®、Pentium®およびCeleron®はIntel Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他、記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

パソコンで 3

MotionSD STUDIOをインストールする

●MotionSD STUDIOは、Windowsパソコンでのみお使いになれます。
●インストール、アンインストールは管理者アカウントのユーザーで行ってください。

●インストールの前に動作環境を確認し(P.63)、他に起動しているソフトウェアをすべて終了してください。
●インストール中は、パソコンで他の操作をしないでください。
●インストールが終了するまで、本機をパソコンに接続しないでください。
●必ず、付属のCD-ROMからMotionSD STUDIOをインストールしてください。

① 付属のCD-ROMをパソコンに入れる
「Setup Menu」画面が自動的に起動します。

②

[MotionSD STUDIO 1.3J]をクリックする
インストールを途中で中止すると、ソフトウェアが正常に動作しないことがあります。

③

[次へ]をクリックする
以下、画面のメッセージに従ってインストールを続けてください。
• お使いの環境によってはDirectXのインストールを要求されますので、[はい]をクリックしてインストールしてください。

④ [完了]をクリックする
「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選ぶと、パソコンが自動的に再起動してインストールが完了します。
CD-ROMは、パソコンから取り出してください。

インストール後、タスクトレイに[ ]が表示されます。本機とパソコンをUSB接続すると、[SDブラウザの自動起動]画面が表示されます。(P.68)
インストール完了後、「Setup Menu」画面の[MotionSD STUDIO 1.3J]をクリックするとアンインストーラーが起動します。「Setup Menu」画面の[終了]をクリックして「Setup Menu」画面を終了してください。

■「Setup Menu」画面が自動的に起動しない
「マイコンピュータ」のCD-ROMドライブのCD-ROMアイコン[ ]をダブルクリックする

■アンインストール

①

●2000 ／ XPの場合
[スタート]→([設定]→)[コントロールパネル]内の[プログラム(アプリケーション)の追加と削除]をクリックする

●Vistaの場合
スタートメニューから[コントロールパネル]→[プログラム]→[プログラムのアンインストール]をクリックする

②

[MotionSD STUDIO 1.3J]を選び、[変更と削除]または、[アンインストールと変更]をクリックする
以下､画面のメッセージに従ってアンインストールを続けてください。
アンインストール後、パソコンを再起動してください。

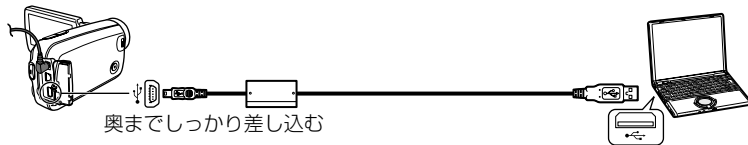
■MotionSD STUDIOの取扱説明書(PDFファイル)を読む
Windowsのスタートメニューから[すべてのプログラム(または[プログラム])]→[Panasonic]→[MotionSD STUDIO 1.3J]→[取扱説明書]の順にクリックします。
または、MotionSD STUDIOの[編集画面]上部の[ヘルプ]メニューから[取扱説明書]を選びます。
• 取扱説明書をご覧になるにはAdobe Acrobat Reader 5.0以降またはAdobe Reader 7.0以降が必要です。

MotionSD STUDIOを使う

詳しい使い方については、MotionSD STUDIOの取扱説明書(PDFファイル)をご覧ください。(P.67)

ビデオや写真の取り込み

本機をパソコンに接続すると、自動的にMotionSD STUDIOが起動します。
- Windows Vistaでご使用の場合、管理者アカウントまたは標準ユーザーアカウントでログオンしてください。Guest アカウントでは使用できません。Windows XP/2000でご使用の場合、管理者アカウントのユーザーでログオンしてください。
- MotionSD STUDIOをお使いになる前に、スタートメニューから「はじめにお読みください」を選び、必ずお読みください。補足説明や最新情報が記載されています。
- 初回起動時には、使用許諾書が表示されます。よく読んで[同意します。]をクリックしてください。

1. 本機とACアダプターを接続し(P.12)、モードダイヤルを[OFF]以外に合わせる
2. 本機とパソコンをUSB接続ケーブル(付属)で接続する

3. 本機の[USB機能選択]画面で[PCコネクト]を選ぶ
   [SDブラウザの自動起動]ダイアログボックスが表示されます。
4. [はい]をクリックする
   [SDブラウザ]画面が表示されますので、画面の指示に従ってください。

- 必ず、付属のUSB接続ケーブルをお使いください。付属品以外をお使いの場合は動作を保証しません。
- **カード動作中ランプの点灯中は、USB接続ケーブルを取り外したり、電源を切らないでください。**
- 初めてパソコンに本機を接続したとき、パソコンの再起動が必要になる場合があります。
- MotionSD STUDIOで編集したビデオをSDカードに記録する場合、使用可能なSDカードをお使いください。(P.10)
- SDカードやDVD-R/RW、DVD-RAMに記録する場合、シーンが多いとサムネイルの表示や、出力に時間がかかる場合があります。

ビデオや写真の編集

1. デスクトップの[MotionSD STUDIO]アイコンをダブルクリックする
   左画面が表示されます。
   - デスクトップにアイコンが表示されていない場合、スタートメニューから[すべてのプログラム(または[プログラム])]→[Panasonic]→[MotionSD STUDIO 1.3J]→[MotionSD STUDIO]を順に選びます。

2. [この画面を閉じる]をクリックする
   起動画面が表示されます。

MotionSD STUDIOの終了

■[SDブラウザ]画面の場合

画面右下の[× 終了]をクリックする

■[編集画面]の場合

画面左の[MotionSD STUDIO 終了]をクリックする

または、「ファイル」メニューから[アプリケーションの終了]を選ぶ

パソコンで 5
外部ドライブとして使う

本機は、外部ドライブとして使用できます。

本機とパソコンを接続する

本機および各接続機器の電源には、ACアダプターをご使用ください。

① 本機とACアダプターを接続し(P.12)、モードダイヤルを[OFF]以外に合わせる

② 本機とパソコンをUSB接続ケーブル(付属)で接続する(P.68)

③「PCコネクト」を選ぶ

• 本機内のSDカードが外部ドライブとしてパソコンに表示されます。

●本機をパソコンに接続すると、「マイコンピュータ」に「リムーバブルディスク」が表示されます。
●SDカードはWindowsのエクスプローラーで外部ドライブ(Eドライブなど)として表示されます。
●本機のSDカードにパソコンがアクセスしている間は、本機の液晶モニターの右下に[ ]が表示されます。

本機を取り外す

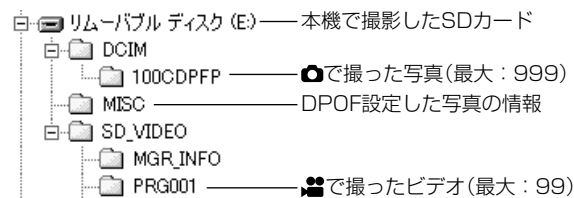
① タスクバーのアイコン[ ]または[ ]をクリックする

②「USB大容量記憶デバイス – ドライブ(n:)を安全に取り外します」をクリックする

③ 取り外しの確認メッセージが表示されたら、[OK]または、メッセージをクリックする

④ USB接続ケーブル(付属)をパソコンから取り外す

SDカードのフォルダー構造

本機内のSDカードの内容がパソコンから確認できます。
本機で撮ったビデオや写真は、下記のフォルダー構成に保存されます。

●WindowsのエクスプローラーやMacintoshのファインダーを使って、ビデオやフォルダーの移動、名前変更、削除、圧縮、フォーマットなどをしないでください。ビデオが再生できなくなります。
●ビデオの編集は、必ずMotionSD STUDIOなどSD-Video規格のビデオファイルが編集できるソフトウェアを使ってください。

●本機がサポートしていないデータをSDカードにコピーしても、本機では再生できません。

パソコンで 6 接続の確認

① 本機とパソコンをUSB接続ケーブル(付属)で接続する(P.68)

② [デバイスマネージャ]を表示する

●Windows 2000の場合
[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[システム]→[ハードウェア]タブ→[デバイスマネージャ]ボタンをクリックする

●Windows XPの場合
[スタート]→[コントロールパネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[システム]→[システムのプロパティ]ウィンドウの[ハードウェア]タブ→[デバイスマネージャ]ボタンをクリックする

●Windows Vistaの場合
スタートメニューから[コントロールパネル]→[システムとメンテナンス]→[システム]→[タスク]ウィンドウの[デバイスマネージャ]をクリックする途中で確認の画面が表示された場合、[続行]ボタンをクリックする

■ ドライバーが確認できている場合

[USB (Universal Serial Bus)コントローラ]に[USB大容量記憶装置デバイス]が表示されます。(表示状態は、お使いになっているパソコンの種類によって異なります)

■ ドライバーが確認できない場合

[USB (Universal Serial Bus)コントローラ] や [その他のデバイス]などに、[!] または[不明なデバイス] が表示されます。
下記の方法を、お試しください。

- 方法①：本機とパソコンの電源を入れ直し、接続し直してください。
- 方法②：本機内のSDカードを取り出し、再度、本機に差し込んでください。
- 方法③：パソコンの別のUSBポートにUSB接続ケーブルを接続してください。

● 上記の方法でドライバーの確認ができない場合は、パソコンメーカーにお問い合わせください。

パソコンで 7 Macintoshパソコンと接続する

外部ドライブとして必要な動作環境

対応パソコン	Macintosh
対応OS	Mac OS X 10.4（ドライバーのインストールは不要）
CPU	PowerPC G5 1.8GHz以上 Intel® Core™ Duo、Intel® Core™ Solo
メモリ	64 MB以上
インターフェース	USB端子

●推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。

本機とパソコンを接続する

本機とパソコンをUSB接続ケーブル(付属)で接続する(P.68)
デスクトップに[名称未設定]または[タイトル未設定]アイコンが表示されます。

写真をパソコンにコピーする

① デスクトップの[名称未設定]または[タイトル未設定]アイコンをダブルクリックする
[DCIM]フォルダー内の[100CDPFP]フォルダー内に写真があります。

② ドラッグ＆ドロップで、写真をパソコンにコピーする

本機を取り外す

① [名称未設定]または[タイトル未設定]アイコンを「ゴミ箱」にドラッグ＆ドロップで移動する

② USB接続ケーブル(付属)をパソコンから取り外す

メニュー一覧

撮影や再生の機能を使ったり、本機の基本的な設定ができます。
（設定方法は、P.18をご覧ください）
● [ ] で囲んでいるものは、お買い上げ時の設定です。

撮影メニュー

モードダイヤルを[ビデオ]または[写真]に合わせる。

トップメニュー	サブメニュー	機能	設定・お知らせ	モード	ページ
よく使う設定	SCN シーンモード	場面に合わせて設定を使う。	[切] ／ スポーツ ／ ポートレート ／ スポットライト ／ サーフ&スノー ／ 夜景	ビデオ 写真	37
	撮影ガイドライン	構図の傾きを確認する。	[切] ／ 入	ビデオ 写真	43
	記録モード	ビデオの記録モードを設定する。	[XP] ／ [SP] ／ LP	ビデオ	25
	写真画質	写真画質を設定する。	[ファイン] ／ ノーマル	写真	27
	時計設定	日時を設定する。	する ／ しない	ビデオ 写真	20
	ワールドタイム設定	海外旅行先の日時を設定する。	する ／ しない	ビデオ 写真	42
お好み設定	デジタルズーム	デジタルズームを使う。	[切] ／ 25x ／ 100x	ビデオ	28
	手ぶれ補正	手ぶれを防ぐ。	切 ／ [入]	ビデオ	29
	風音低減	風の音を防ぐ。	切 ／ [入]	ビデオ	43
	ズームマイク	音にズーム効果をつける。	[切] ／ 入	ビデオ	29
	オートスローシャッター	シャッター速度を自動で調整する。	切 ／ [入]	ビデオ 写真	29
	シャッター効果	シャッター音を消す。	切 ／ [入]	写真	26
	ワイド設定	撮影時の横縦比を設定する。	4:3 ／ [ワイド]	ビデオ	24
	フェード色	フェードの色を変える。	[白] ／ 黒	ビデオ	31
セットアップ		基本的な設定をする。	セットアップメニューについて(P.76)	ビデオ 写真	—
LANGUAGE		メニューなどの言語を切り換える。	[日本語] / English	ビデオ 写真	19

再生メニュー

モードダイヤルを[ビデオ再生]または[写真再生]に合わせる。

トップメニュー	サブメニュー	機能	設定・お知らせ	モード	ページ
シーン編集	ロック設定	誤消去を防ぐ。	する ／ [しない]	ビデオ再生	50
	削除	シーンを削除する。	全削除 ／ 選択削除 ／ コピー済み削除 ／ しない	ビデオ再生	48, 61
写真の管理	ロック設定	誤消去を防ぐ。	する ／ [しない]	写真再生	50
	DPOF設定	プリント情報をSDカードに書き込む。	全て解除 ／ 設定 ／ しない	写真再生	51
セットアップ		基本的な設定をする。	セットアップメニューについて(P.76)	ビデオ再生 写真再生	—
LANGUAGE		メニューなどの言語を切り換える。	[日本語] / English	ビデオ再生 写真再生	19

メニュー一覧(つづき)

撮影や再生の機能を使ったり、本機の基本的な設定ができます。
(設定方法は、P.18をご覧ください)
● [ ] で囲んでいるものは、お買い上げ時の設定です。

セットアップメニュー

項目	機能	設定・お知らせ	モード	ページ
画面表示	液晶モニター画面に現在の情報や設定を表示させる。 • [OFF]にしても動作状態表示と日付、ワールドタイムの表示は消えません。	切 ／ [入]	動画 写真 動画再生 写真再生	24
日時表示	年月日・時刻の表示を切り換える。	切 ／ 日時 ／ [日付]	動画 写真 動画再生 写真再生	20
表示スタイル	年月日の表示スタイルを切り換える。	[年/月/日] ／ 月/日/年 ／ 日/月/年	動画 写真 動画再生 写真再生	20
カードフォーマット	SDカードを初期化する。	する ／ しない	動画 写真 動画再生 写真再生	50
クイックスタート	すばやく撮影を始める。	切 ／ [入]	動画 写真	17
パワーセーブ	操作しない状態が続くと、自動で電源を切る。 次のときは働きません。 • ACアダプターでの使用中 • パソコンやプリンターとUSB接続中	切 ／ [5分]：約5分間操作がないと電源が切れます。再度使うには、モードダイヤルを[OFF]にした後、モードを選ぶ。	動画 写真 動画再生 写真再生	—
音声記録	音声の記録方式を設定する。 本機では、撮影後の音声方式を変換できませんが、同梱のMotion SD STUDIOを使うと、DVDディスクには[DOLBY]、SDカードには[MPEG]で記録します。	DOLBY ：DVDバーナーを使ってSDカードに記録したデータをDVDディスクに保存するのに適した音声方式。 [MPEG]：動画を記録したSDカードを、動画再生できるテレビで見るのに適した音声方式。	動画	24, 86
お知らせブザー	撮影の開始や終了などを音で確認する。 [入]に設定したとき： 「ピッ」： • 撮影開始時や電源ON時。 • パソコンやプリンター認識時。 「ピピッ」： • 撮影停止時や電源OFF時。 「ピピッ、ピピッ…」(連続4回)： • 撮影ができないなどのエラーが起こったとき。画面に出るメッセージ(P.80)の内容を確認してください。	切 ／ [入]	動画 写真 動画再生 写真再生	—
パワー LCD	画面を通常よりも明るくする。	[LCD] ／ [+1] ／ [+2] • ACアダプター使用時は自動的に[+1]になります。	動画 写真 動画再生 写真再生	21
液晶調整	液晶モニターの明るさや色の濃さを調整する。	する ／ [しない]	動画 写真 動画再生 写真再生	21
接続するテレビ	テレビの画面比率にあわせて表示する。	4:3 ／ [ワイド]	動画再生 写真再生	52
外部表示	テレビ画面に情報を表示する。	[切] ／ 入	動画 写真 動画再生 写真再生	52
続きから再生	前回の続きから再生する。	[切] ／ 入	動画再生	46
初期設定	[LANGUAGE]と[時計設定]以外のすべてのメニューをお買い上げ時の設定に戻す。	する ／ しない	動画 写真	—
デモモード	本機の紹介(デモ)を表示する。 [AUTO]、[MANUAL AF/MF]ボタンを押す以外の操作をすると中断しますが、約10分以上操作がないと、再び始まります。	[切]： 通常は[切]にしてお使いください。 入： SDカードを入れずにACアダプターを接続するとデモが始まり、SDカードを入れると停止します。	動画 写真	—

液晶モニターの表示一覧

撮影時

ビデオ撮影画面

写真撮影画面

再生時

ビデオ再生画面

写真再生画面

メッセージ表示

液晶モニターに表示される、主なメッセージの意味と対処法です。

メッセージ	ご確認ください
記録できません。	SDカードへの書き込みに失敗しました。
シーンがありません。	SDカードにビデオや写真が記録されていません。SDカードに記録しているのにこの表示が出る場合は、カードの状態が不安定になっている可能性があります。電源を入れ直してください。
このカードはビデオ記録できません。	ビデオを撮影できない、8 MBもしくは16 MBのSDカードです。
カードを確認してください。	対応していないSDカード、または本機で認識できないSDカードです。
カードがロックされています。ロックを解除してください。	SDカードが書き込み禁止になっています。(P.11)
カード残量がありません。 このカードはこれ以上シーン記録できません。	SDカードがいっぱいか、シーン数または日付別が最大記録数に達したため記録できません。不要なシーンを削除するか、新しいSDカードを入れてください。(P.48)
カードのふたが開いています。	カード／バッテリー扉を閉じてください。
記録エラーが発生しました。 記録を停止しました。	●Panasonic製のSDカードまたは、ビデオ撮影が可能なSDカードを使用してください。(P.10) ●使用可能なSDカードでもこのメッセージが表示されたときは、SDカードをフォーマットすることをおすすめします。フォーマットをするとSDカードに記録されているすべてのデータが削除されます。あらかじめパソコンなどに保存しておいてください。
メニュー画面を終了して、マニュアルモードに切り換えてください。 ナイトビューモードを解除してください。	同時に使用できない機能を選んでます。(P.87)

メッセージ	ご確認ください
ACアダプタをご使用ください。	ACアダプターを接続せずにパソコンと接続しようとしています。
エラーを検出しました。電源を入れ直してください。	本機が異常を検出しました。SDカードを取り出してから電源を入れ直してください。
USB機能は使えません。ケーブルを抜いてください。	パソコンや、プリンターと正しく接続されていません。USB接続ケーブルを接続し直してください。
USBケーブル接続中のため操作はできません。	パソコン接続中は本機の電源を切れません。
カードにエラーを検出しました。 管理情報を修復しますので、ACアダプターを接続するかバッテリーをとりかえてください。	SDカード内のデータに異常があります。 修復する場合は、残量が十分にあるバッテリーを使用するか、ACアダプターを接続してください。異常の内容によっては修復に時間がかかることがあります。
管理情報を修復中です。 カードを抜かないでください。	データは修復されました。 ●データの状態によっては、完全に修復できないことがあります。 ●修復せずに電源を切っても、次回電源を入れたときに修復することができます。 ●修復に失敗したときは、データは再生できません。本機でSDカードをフォーマットしてください。 ●他機で記録したSDカードは修復しないでください。
接続機器の確認ができませんでした。 本機側のUSBケーブルを抜いてください。	本機で使用できない機器が接続されています。
明るさがたりません。レンズカバーを確認してください。	●撮影の前にレンズカバーを開けてください。 ●暗い場所では、レンズカバーが開いていても表示される場合があります。 ●電源を入れた後、最初の撮影モード時に表示されますが、マニュアル撮影時には表示されません。

故障かな！？

こんなときは…	ご確認ください
電源が入らない バッテリーで使用中に動作表示ランプが点滅している	バッテリーは十分に充電されていますか？
電源が勝手に切れる	本機を約5分間操作しないと、バッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れます。再び使うときは、モードダイヤルを[OFF]にしてからモードを選んでください。 [パワーセーブ]を[切]に設定すると、自動的に電源は切れません。(P.76)
電源が入っても すぐに切れる	バッテリーが消耗していませんか？ バッテリー残量表示が点滅していたり、[バッテリーを取りかえてください。]のメッセージが出ている場合は、バッテリーを充電してください。(P.12)
バッテリーの消耗が早い	●十分に充電されていますか？ ●低い温度のところで使っていませんか？ バッテリーは、周囲の温度の影響を受けます。低い温度のところでは、使用できる時間が短くなります。 ●バッテリーが寿命になっていませんか？ 十分に充電しても使用できる時間が短いときは、バッテリーの寿命です。
バッテリーが 膨らんだ	本機で使用しているリチウムイオンバッテリーは、充放電回数が多くなると膨らむことがありますが、安全上の問題はありません。そのまま使うと本機から取り出せなくなる場合があります。ご使用はお控えいただき、新しいバッテリーをお買い求めください。

こんなときは…	ご確認ください
電源が入っているのに何も操作できない 正常に動作しない	●液晶モニターを開いていますか？ ●カード動作中ランプが点灯していないことを確認してから、SDカードを取り出し、バッテリーやACアダプターを外して1分程度たってから再度取り付け、さらに1分程度たってから電源を入れてください。(SDカードのアクセス中に上記の操作を行うと、データが破壊されることがあります)
画面が急に変わった	デモ(本機の紹介)が始まっているときは、[デモモード]を[切]にしてください。(P.76)
画面表示(残量表示、経過時間表示など)が出ない	[セットアップ]メニューの[画面表示]が[切]になっていると、警告、日付表示など以外は出ません。
SDカードが正しく入っているのに、撮影できない	●SDカードを書き込み禁止にしていませんか？(P.11) ●SDカードの容量がなくなっていませんか？不要なシーンを削除するか、新しいSDカードを入れてください。(P.48) ●撮影モードにしていますか？ ●カード扉が開いていませんか？
ビデオ撮影が勝手に止まってしまう	●使用可能なSDカードをお使いください。(P.10) ●使用可能なSDカードでも、同じカードに書き込みを繰り返した場合、記録が停止することがあります。パソコンにデータをコピーしてから、本機でカードをフォーマットしてください。(フォーマットすると、SDカード上のすべてのデータが消去されます)
写真がモザイク状になる	[写真画質]を[ ]にして、細かいものを撮影すると、モザイク状になることがあります。[ ]にして撮影してください。(P.27)

故障かな！？（つづき）

こんなときは…	ご確認ください
自動でピントが合わない	●マニュアルフォーカスになっていませんか？ [AUTO]ボタンを押してオートフォーカスにしてください。 ●オートフォーカスでピントが合いにくい場面を撮影していませんか？ 手動でピントを合わせてください。(P.36)
音声が出ない	音量が小さくなっていませんか？ (P.44)
モーター音が記録されている	本機の動作音で故障ではありません。
テレビに映像が出ない、 映像が縦長になる	●テレビの入力切換が接続した端子と合っていますか？ テレビの説明書をご覧になり、接続した端子に入力を切り換えてください。 ●お使いのテレビに合わせて[接続するテレビ]を設定してください。(P.52)
削除ができない	●シーンがロックされていませんか？ ロックを解除してください。(P.50) ●サムネイル表示が[!]のシーンは削除できません。 不要な場合はSDカードをフォーマットしてください(P.50)。フォーマットすると、SDカードに記録されているすべてのデータが削除されます。 ●SDカードが書き込み禁止になっていませんか？ (P.11)
SDカードの画像がおかしい	シーンが壊れている可能性があります。シーンは静電気や電磁波で壊れることがあります。大切なデータは、パソコンなどにも保存するようにしてください。
SDカードをフォーマットしても使えるようにならない	本機またはSDカードの故障と思われます。お買い上げの販売店にご相談ください。本機で使えるSDカードについて(P.10)

こんなときは…	ご確認ください
本機にSDカードを入れても認識しない	パソコンでフォーマットしませんでしたか？ SDカードをフォーマットする場合は本機で行ってください。 フォーマットすると、SDカードに記録されているすべてのデータは削除され、元に戻すことはできません。(P.50)
表示が消える、 画面が動かなくなる、 操作できなくなる	●パソコンとつないでいませんか？ パソコンと接続中は、本機側からは操作できません。 ●電源を切ってください。電源が切れないときは、SDカードを取り出してからバッテリー、ACアダプターを外してつけ直し、電源を入れてください。それでも正常に動作しない場合は、電源を外し、お買い上げの販売店にご相談ください。
他の機器にSDカードを入れても認識しない	機器の説明書をお読みいただき、対応しているSDカードをご確認ください。
USB接続ケーブルをつないでもパソコンが認識しない	●メニュー表示中はUSB接続ケーブルをつないでも、USB機能画面は表示されません。メニューを閉じてから、USB接続ケーブルをつないでください。 ●ACアダプター接続していますか？ ●パソコンに複数のUSB端子がある場合は、USB端子を変更してみてください。 ●動作環境を確認してください。(P.63) ●USB接続ケーブルを外し、本機の電源を入れ直してから接続してください。
USB接続ケーブルを外したらパソコンにエラーメッセージが出る	●Windowsの場合 USB接続ケーブルを安全に外すために、タスクトレイの(または)アイコンをクリックしてから、画面の指示に従ってください。 ●Macintoshの場合 デスクトップにある本機のアイコンをゴミ箱に入れた後、USB接続ケーブルを取り外してください。

故障かな！？（つづき）

こんなときは…	ご確認ください
[エラーを検出しました。電源を入れ直してください。]と表示される	●本機が異常を検出しました。データ保護のためにSDカードを取り出してから、モードダイヤルを[OFF]にしてください。約1分後に電源が切れます。 ●再度電源を入れた後も繰り返し表示されるときは修理が必要です。接続している電源を外して、お買い上げの販売店へご相談ください。お客様での修理はご遠慮ください。
DVDバーナーでコピーしたビデオの音声が出ない	撮影時の[音声記録]（P.76）が[MPEG]になっていた場合、再生機器によっては音声が出ないことがあります。[DOLBY]に設定して撮影してください。 DVDバーナーと本機を接続し、本機で再生する場合は「MPEG」、「DOLBY」共に再生できます。
MotionSD STUDIOの取扱説明書PDFファイルが見られない	Adobe Acrobat Reader 5.0以降、またはAdobe Reader 7.0以降がお使いのパソコンにインストールされていますか？ MotionSD STUDIOの取扱説明書PDFファイルを読むためには、Adobe Acrobat Reader 5.0以降、またはAdobe Reader 7.0以降が必要です。
[使用できないディスクです。ディスクを確認してください。]と表示される。	DVDバーナー(別売)に、使用できないディスクか、書き込みできないディスクが挿入されています。 新しいディスクをお使いください。

こんなときは…	ご確認ください
機能が使えない、選べない	本機では仕様上、同時に使えない機能があります。 例）（下表参照）
	セットアップメニューの[初期設定]を行うと、[LANGUAGE]と[時計設定]以外のすべての設定がお買い上げ時の状態になり、機能が選べるようになります。（P.76）

例）

使えない機能	使えなくなる条件
デジタルズーム	●写真撮影モード時
フェード	●写真撮影モード時 ●PRE-REC設定中
カラーナイトビュー	●写真撮影モード時 ●撮影中 （設定や解除はできません） ●PRE-REC設定中 （設定や解除はできません）
逆光補正	●絞り・ゲイン設定中 ●カラーナイトビュー使用時
美肌モード（設定と解除）	●撮影中 ●PRE-REC設定中
ヘルプモード	●撮影中 ●PRE-REC設定中
手ぶれ補正	●写真撮影モード時 ●カラーナイトビュー使用時
シーンモード	●オート撮影モード時 ●カラーナイトビュー使用時
ホワイトバランスモードの変更	●デジタルズーム使用時 ●カラーナイトビュー使用時
シャッター速度／絞り・ゲインの調整	●シーンモード使用時 ●カラーナイトビュー使用時

安全上のご注意 （必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ **表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。**

危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ **お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です）**

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 危険

バッテリーパックは、本機で充電する

本機以外で充電すると、液もれ･発熱･発火･破裂などを起こし、けがをする原因になります。

ACアダプターは、本機専用のバッテリーパック以外の充電には使わない

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

⚠ 危険

■指定以外のバッテリーパックを使わない

■バッテリーパックの端子部(⊕・⊖)に金属物(ネックレスやヘアピンなど)を接触させない

■バッテリーパックを分解、加工(はんだ付けなど)、加圧、加熱、火中投入などをしない

■電子レンジやオーブンなどで加熱しない

■バッテリーパックを炎天下(特に真夏の車内)など、高温になるところに放置しない

液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。

- ビニール袋などに入れ、金属物と接触させないようにしてください。
- 不要(寿命)になったバッテリーパックについては、95ページをご参照ください。
- 万一、液もれが起こったら、販売店にご相談ください。 液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。 液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

⚠ 警告

雷が鳴り出したら、本機の金属部やACアダプターなどの電源プラグに触れない

接触禁止

落雷すると、感電の原因になります。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100 V ～ 240 V以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

安全上のご注意 必ずお守りください（つづき）

⚠ 警告

電源コード・プラグを破損するようなことはしない（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない）

傷んだまま使用すると、火災･感電･ショートの原因になります。

●コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源を入れたまま長時間、直接触れて使用しない

本機の温度の高い部分に長時間､直接触れていると低温やけど※の原因になります。長時間ご使用の場合は、三脚などをお使いください。

※ 血流状態が悪い人（血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている）や皮膚感覚が弱い人（高齢者）などは、低温やけどになりやすい傾向があります。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。

●機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
●特にお子様にはご注意ください。

メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

●万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

⚠ 警告

乗り物を運転しながら使わない

事故の誘発につながります。

●歩行中でも周囲の状況、路面の状態などに十分ご注意ください。

分解、改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

●内部の点検や修理は、販売店にご依頼ください。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

●傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

異常があったときは、電源プラグを抜く

- 内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき
- 落下などで外装ケースが破損したとき
- 煙や異臭、異音が出たとき

そのまま使うと、火災･感電の原因になります。

●バッテリーで使っている場合は、バッテリーを外してください。
●販売店にご相談ください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

●電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

安全上のご注意 必ずお守りください（つづき）

⚠ 注意

長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

●カードは、保護のため取り出しておいてください。

レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない

集光により、内部部品が破損し、火災の原因になることがあります。

飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従う

本機が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を及ぼす原因になることがあります。

●病院などで使うときも、病院の指示に従ってください。

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがや製品の故障の原因になることがあります。
また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

⚠ 注意

異常に温度が高くなるところに置かない

特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温(約60 ℃以上)になります。本機やバッテリー、ACアダプターなどを絶対に放置しないでください。
外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。
たばこの煙なども製品の故障の原因になることがあります。

その他 6

使用上のお願い

お使いのとき

- 使用中は本体やSDカードが温かくなりますが、異常ではありません。
- **磁気が発生するところや電磁波が発生するところ(携帯電話、電子レンジ、テレビやゲーム機など)からはできるだけ離れて使う**
  - テレビの上や近くで操作すると、電磁波の影響で映像や音声が乱れることがあります。
  - スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気により、記録が損なわれたり、映像がゆがんだりします。
  - マイコンを含めたデジタル回路の出す電磁波により、お互いに影響を及ぼし、映像や音声が乱れることがあります。
  - 本機が影響を受け、正常に動作しないときは、バッテリーとACアダプターを一度外してから、あらためて接続し電源を入れ直してください。
- **電波塔や高圧線が近くにあるときは、なるべく使わない**
  - 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で撮影映像や音声が悪くなることがあります。
- 本機や別売品に付属するコードやケーブルを使用し、延長して使わない
- 殺虫剤や揮発性のものを本機にかけたり、ゴム製品やビニール製品などを長期間接触させたままにしない(変質や塗装はがれの原因になります)
- 本機を持ち運びするときは、落としたり、ぶつけたりしない
  - 強い衝撃が加わると、外装ケースが壊れ、故障する恐れがあります。
- 監視用など、業務用として使わない
  - 本機は業務用ではありません。長時間使うと、内部に熱がこもり故障する恐れがあります。
- 長期間使用しないとき
  - 押入れや戸棚に保管するときは、乾燥剤(シリカゲル)と一緒に入れることをおすすめします。

SDカードについて

- SDカードのラベルに記載されているメモリー容量は、著作権の保護·管理のための容量と、本機やパソコンなどで通常のメモリーとして利用可能な容量の合計です。

バッテリーについて

- 本機で使用する充電式リチウムイオン電池は、温度や湿度の影響を受けやすく、温度の低いところでは、満充電表示にならない場合や、使用開始後5分くらいでバッテリー警告表示が出る場合があります。また高温になると保護機能が働き、使用できない場合もあります。
- 使用後は、必ずバッテリーを取り出して保管する
  - 入れたままにしておくと、微量の電流が流れているため過放電により故障の原因になります。
  - 端子部に金属が触れないようにビニールの袋に入れ、涼しく(15 ℃～ 25 ℃)、湿気の少ない(湿度40 %～ 60 %)温度変化の少ない場所で保管する。
  - 極端に低温、高温になるところで保管すると、バッテリーの寿命が短くなることがあります。また、高温·多湿、油煙の多いところでは、端子がさびたりして故障の原因になります。
  - 長期間保管する場合は、1年に1回は充電し、いったん使用して、残量がなくなってから再保管する。
  - バッテリーの端子部についたほこりなどは取る。
- 出かけるときは予備のバッテリーを準備する
  - 撮影したい時間の3～4倍のバッテリーを準備してください。スキー場などの寒冷地では撮影できる時間がより短くなります。
  - 旅行のときは、充電できるようにACアダプターも忘れずに準備してください。
- 落下などで破損や変形(特に端子部)したら使わない
  - 故障の原因になります。
- 不要(寿命になったなど)バッテリーは火中などに投入しない
  - 加熱したり火中などに投入すると、破裂する恐れがあります。
- 充電直後でもバッテリーの使用時間が大幅に短くなったら、バッテリーの寿命です。新しいものをお買い求めください。
- 不要になった電池(バッテリー)は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。
- 使用済み充電式電池(バッテリー)の届け先
  最寄りのリサイクル協力店へ
  詳細は、有限責任中間法人JBRCのホームページをご参照ください。
  - ホームページ：http://www.jbrc.net/hp
- 使用済み充電式電池の取り扱いについて
  - 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
  - 分解しないでください。

使用上のお願い（つづき）

ACアダプターについて

- 必ず付属のACアダプターをお使いください。
- バッテリーの温度が高すぎたり、低すぎたりすると、充電に時間がかかったり、充電できないことがあります。
- ラジオからは1 m以上離す。（ラジオに雑音が入る原因になります）
- 使用中に、ACアダプター内部で音がすることがありますが、異常ではありません。
- 使用後は、必ず電源コンセントから抜く。（放置すると、最大0.3 W電力消費します）
- ACアダプターの端子部は汚さないでください。

機器を電源コンセントの近くに設置し、遮断装置(電源プラグ)へ容易に手が届くようにしてください。

液晶モニターについて

- 液晶モニターがくもったり、汚れたりしたら、柔らかい乾いた布でふく。
- 寒冷地などで本機が冷えきっている場合に、電源を入れた直後は液晶モニターが通常より少し暗くなりますが、内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

液晶モニターは、精密度の高い技術で作られていますが、液晶モニターの画面上に黒い点が現れたり、常時点灯(赤や青、緑の点)することがあります。これは故障ではありません。
液晶モニターの画素については99.99 %以上の高精度管理をしておりますが、0.01 %以下で画素欠けや常時点灯するものがあります。また、これらの点はSDカードの映像には記録されませんのでご安心ください。

つゆつきについて

- つゆつきが起こると、レンズがくもったり、本機やSDカードが正常に動作しない場合があります。温度や湿度の急激な変化を避けてください。
- つゆつきは、次のようなときに起こります。
  - 夏の夕立の後や、湯気が立ち込める場所など湿気が多いとき
  - 寒い部屋を急に暖房したとき
  - 寒いところから暖かいところへ移動したとき
  - エアコンなどの冷風が本機に直接当たっていたとき
- 温度や湿度に差があるときは、本機をビニール袋に入れ、中の空気をできるだけ抜いて封をし、1時間ほど放置して周囲の温度になじませてから使う。
- レンズがくもったらバッテリーとACアダプターを外し、カード／バッテリー扉を開けて、1 時間ほど放置して周囲の温度になじませる。

お手入れのとき

- バッテリーやACアダプターを外す。
- ベンジンやシンナー、アルコールなどを使わない。（変質、塗装はがれの原因になります）
- 指紋やほこりは、柔らかい乾いた布でふく。汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってからふき、その後、乾いた布でふく。
- 化学ぞうきんは、その注意書に従って使用する。

■このマークがある場合は

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークはEU域内でのみ有効です。製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

海外で使う

撮ったものを海外で見るには

映像・音声コードでテレビに接続して見る場合は、日本と同じテレビ方式(NTSC)の映像/音声入力端子付テレビが必要です。

■日本と同じNTSC方式を採用している国、地域

●アメリカ合衆国
●アンチグア・バーブーダ
●イエメン（一部地域）
●英領バーミューダ諸島
●エクアドル
●エルサルバドル
●ガイアナ
●カナダ
●キューバ
●グァテマラ
●グァム島
●グレナダ
●コスタリカ
●コロンビア
●ジャマイカ
●スリナム
●セントクリストファー・ネイビス
●セントビンセント・グレナディーン諸島
●セントルシア
●大韓民国
●台湾
●チリ
●ドミニカ共和国
●ドミニカ国
●トリニダード・トバゴ
●ニカラグア
●ハイチ
●パナマ
●バハマ
●バルバドス
●フィジー
●フィリピン
●プエルトリコ
●米領サモア
●ベトナム（一部地域）
●ベネズエラ
●ベリーズ
●ペルー
●ボリビア
●ホンジュラス
●マーシャル諸島
●マリアナ諸島
●ミクロネシア連邦
●ミャンマー
●メキシコ

本機の保証書は、日本国内のみ有効です。万一、海外で故障した場合の現地でのアフターサービスについてはご容赦ください。

ACアダプターを海外で使用するには

ACアダプターは、電源電圧(100 V ～ 240 V)、電源周波数(50 Hz、60 Hz)でご使用いただけます。市販の変圧器などを使用すると、故障する恐れがあります。

国、地域、滞在先によって電源コンセントの形状は異なります。海外旅行をされる場合は、その国、地域、滞在先に合ったプラグを準備してください。変換プラグは、お買い上げの販売店にご相談のうえ、お求めください。

充電のしかたは、国内と同じです
ACアダプターは日本国内で使用することを前提として設計されておりますが、海外旅行等での一時的な使用は問題ありません。
- ●ご使用にならないときは変換プラグをACコンセントから外してください。

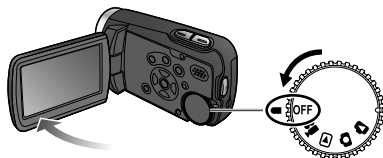
■主な国、地域の代表的な電源コンセントのタイプ

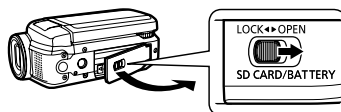
北米							
アメリカ合衆国	A	カナダ	A, BF				
ヨーロッパ・旧ソ連地域							
アイスランド	C	アイルランド	C	イギリス	B,BF,B3,C,0	イタリア	C
ウクライナ	A, C	オーストリア	B, C, SE	オランダ	C,SE	カザフスタン	A,C
ギリシャ	B, C	スイス	B, BF, C, SE	スウェーデン	C	スペイン	A,C,SE
デンマーク	C	ドイツ	C, SE	ノルウェー	C	ハンガリー	C
フィンランド	C	フランス	C, 0, SE	ベラルーシ	A,C	ベルギー	C
ポーランド	B, C	ポルトガル	B, C	ルーマニア	C	ロシア	A,C
アジア							
インド	B, BF, C	インドネシア	A, B, BF, B3, C, SE	シンガポール	B,BF,B3	スリランカ	B,C
タイ	A, BF, C	大韓民国	A, BF, C, 0, SE	台湾	A,0	中華人民共和国	A,B,BF,B3,C,0,SE
ネパール	B, BF, C	パキスタン	A, B, C	バングラデシュ	B,C	フィリピン	A,B,BF,C,0
ベトナム	A, C	香港特別行政区	B, BF, B3, C	マカオ特別行政区	A,B,C	マレーシア	B,BF,B3,C
モンゴル	B, BF, C						
オセアニア							
オーストラリア	0	グァム島	A	タヒチ	A,C	トンガ	0
ニュージーランド	0	フィジー	A, C, 0				
中南米							
アルゼンチン	A, BF, C, 0	コロンビア	A	ジャマイカ	A	チリ	B,C
ハイチ	A	パナマ	A, BF	バハマ	A	プエルトリコ	A
ブラジル	A, C, SE	ベネズエラ	A	ペルー	A,C	メキシコ	A,SE
中東							
イスラエル	BF, C, 0	イラン	BF, C	クウェート	B,BF,C	ヨルダン	B,BF
アフリカ							
アルジェリア	A, BF, C	エジプト	B, BF, B3, C, SE	カナリア諸島	C	ギニア	C
ケニア	B, BF, C	ザンビア	B, BF	タンザニア	B,BF	南アフリカ共和国	B,BF,B3,C
モザンビーク	C	モロッコ	C,SE				

タイプ		形状	変換プラグ
A	アメリカンタイプ		不要
B	U.K.タイプ		
BF	U.K.タイプ		
B3	U.K.タイプ		
C	ヨーロピアンタイプ		
SE	ヨーロピアンタイプ		
0	オーストラリアンタイプ		

Quick guide (English)

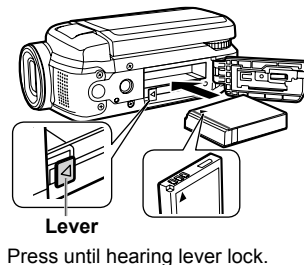
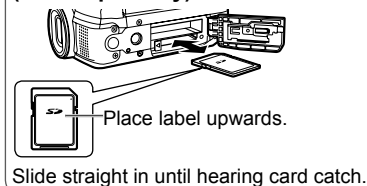
Charging

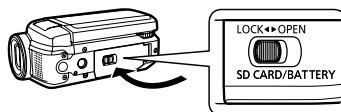
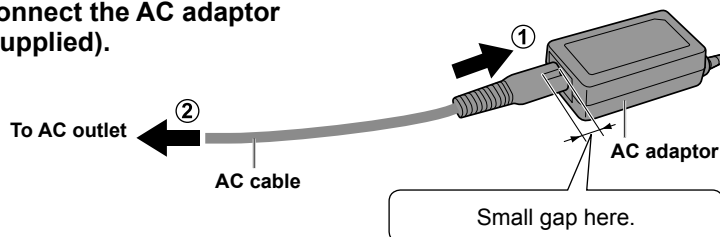
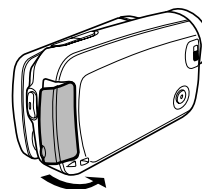
1 Set the mode dial to [OFF].

2 Open the card/battery door.

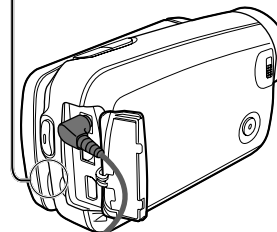
Open the door by sliding the card/battery door lever to the “OPEN” position.

3 Insert the battery.

Inserting SD cards (sold separately)

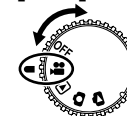
Slide straight in until hearing card catch.

Press until hearing lever lock.

4 Close the card/battery door.

Close the card/battery door and slide the card/battery door lever to the “LOCK” position.

5 Connect the AC adaptor (supplied).

6 Open the terminal cover.

7 Plug the DC plug into the DC input terminal on the unit.

Status indicator
Flashing red: Charging in progress
Off: Charging complete

Changing the display language

The display and menu language can be changed.

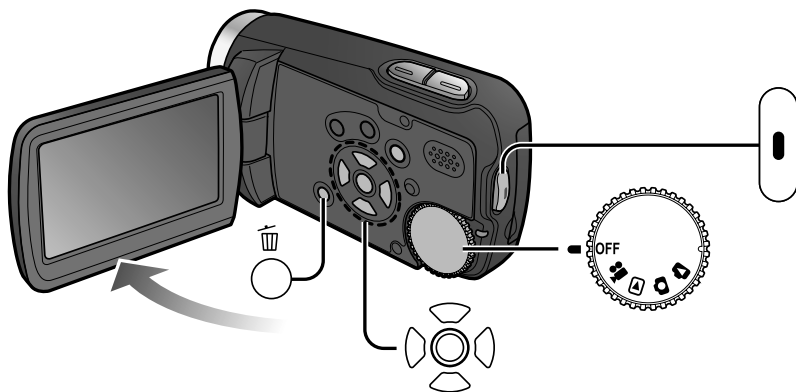
1 Set the mode dial to a position other than [OFF].

2 Display the menu.

MENU

3 Select [LANGUAGE].

4 Close the menu.

MENU

Quick guide (English) (cont.)

Recording

Motion pictures

1 Set to [ ].

2 Start recording.

3 Stop recording.

Still pictures

1 Set to [ ].

2 Take picture.

Playback

Motion pictures

1 Set to [ ].

2 Select and enter the picture to view.

Still pictures

1 Set to [ ].

2 Select and enter the picture to view.

Slideshow start/pause

Back

Next

Return to step 2

Deleting pictures

1 During playback

(LCD monitor display in motion picture viewing)

2 Select [YES].

仕様

SDビデオカメラ

電源	DC 5.0 V（AC アダプター使用時）/3.6 V（バッテリー使用時）
消費電力	録画時：2.3 W

信号方式	NTSC日米標準信号方式
撮像素子	CCD固体撮像素子 総画素　約68万 有効画素　動画：約34万(4:3)／約30万(16:9) 静止画：約35万(4:3)
レンズ	自動絞り　ズーム比10倍 F1.8～F2.4/f=2.3 mm～23.0 mm 35 mm換算 動画：　43.9 mm～439 mm（4:3）/ 43.9 mm～439 mm（16:9） 静止画：43.7 mm～437 mm（4:3） マクロ付き(ワイドレンジAF)
ズーム	光学10倍･デジタル25/100倍
モニター	2.7型ワイド液晶モニター(約12.3万画素)
マイク	ステレオマイクロホン(ズーム機能付)
スピーカー	ダイナミック型
白バランス調整	自動追尾ホワイトバランス方式
標準被写体照度	1,400 lx
最低照度	約6 lx（ローライトモード 1/30時）、 カラーナイトビュー時　約2 lx
映像出力	1.0 Vp-p 75 Ω
音声出力	316 mV　インピーダンス600 Ω
USB	カードリーダーライター機能(著作権保護対応無し) USB2.0（ハイスピード）、 USB端子TYPE miniAB、PictBridge 対応
外形寸法	幅41.0 mm×高さ59.0 mm×奥行き102.0 mm (突起部含む)
本体質量	約160 g(SDメモリーカード、付属バッテリー除く)
使用時質量	約182 g(SDメモリーカード、付属バッテリー含む)
推奨使用温度	0 ℃～40 ℃
許容相対湿度	10 %～80 %
バッテリー持続時間	14ページを参照してください。

ビデオ

記憶メディア	SD メモリーカード： 256 MB、512 MB、1 GB、2 GB （FAT12、FAT16 形式に対応） SDHC メモリーカード： 4 GB、8 GB、16 GB（FAT32形式に対応）
記録画素数	704×480
記録可能時間	25ページを参照してください。
圧縮方式	MPEG2（SD-Video規格準拠）
転送レート	XP（高画質）：約10 Mbps(VBR)、30 fps SP（標準）：　約5 Mbps(VBR)、30 fps LP（長時間）：約2.5 Mbps(VBR)、30 fps
音声圧縮形式	MPEG1-Layer2準拠(ステレオ)、Dolby Digital準拠(Dolby AC3)（ステレオ）

写真

記憶メディア	SD メモリーカード： 8 MB、16 MB、32 MB、64 MB、128 MB、 256 MB、512 MB、1 GB、2 GB （FAT12、FAT16 形式に対応） SDHC メモリーカード： 4 GB、8 GB、16 GB（FAT32形式に対応）
記録可能枚数	27ページを参照してください。
圧縮方式	JPEG(DCF/Exif2.2 準拠)、DPOF対応
記録画素数	640×480（4:3）

AC アダプター

電源	AC 100 V―240 V 50/60 Hz
入力容量	21 VA（AC 100 V 時）/30 VA（AC 240 V 時）
DC出力	DC 5.0 V　1.6 A

バッテリーパック

最大電圧	DC 4.2 V
公称電圧	DC 3.6 V
定格容量	1000 mAh

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理･お取り扱い･お手入れなどのご相談は･･･
まず､お買い上げの販売店へお申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は・・・

- **修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！**
- **使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！**

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間: お買い上げ日から本体１年間
（「本体」にはソフトウェアの内容は含みません）

■補修用性能部品の保有期間

当社は、このデジタルカメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理を依頼されるとき

この説明書をよくお読みのうえ、直らないときは、まず接続している電源を外して、お買い上げの販売店へご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	SDビデオカメラ
品　番	SDR-S7
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。下記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

松下電器産業株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。なお、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

修理に関するご相談

ナショナル パナソニック　**修 理 ご 相 談 窓 口**

ナビダイヤル（全国共通番号）　**0570-087-087**

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP/光電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル パナソニック　**お客様ご相談センター**

365日／受付9時～20時

電話　フリーダイヤル　**0120-878-365**（パナは 365日）

■携帯電話・PHSでのご利用は…　**06-6907-1187**

FAX　フリーダイヤル　**0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256 - 5444　**Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

ナショナル パナソニック　修 理 ご 相 談 窓 口

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北 海 道 地 区		
札幌 札幌市厚別区厚別南2丁目17-7 ☎ (011)894-1251 **旭川** 旭川市2条通16丁目1166 ☎ (0166)22-3011	**帯広** 帯広市西20条北2丁目23-3 ☎ (0155)33-8477	**函館** 函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内） ☎ (0138)48-6631

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

ナショナル パナソニック 修理ご相談窓口

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

東北地区

県	所在地	電話番号
青森	青森市大字浜田字豊田364	☎ (017)775-0326
秋田	秋田市外旭川字小谷地3-1	☎ (018)868-7008
岩手	盛岡市厨川5丁目1-43	☎ (019)645-6130
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎ (022)387-1117
山形	山形市平清水1丁目1-75	☎ (023)641-8100
福島	郡山市亀田1丁目51-15	☎ (024)991-9308

首都圏地区

県	所在地	電話番号
栃木	宇都宮市上戸祭3丁目3-19	☎ (028)689-2555
群馬	前橋市箱田町325-1	☎ (027)254-2075
茨城	つくば市筑穂3丁目15-3	☎ (029)864-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎ (048)728-8960
千葉	千葉市中央区末広5丁目9-5	☎ (043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎ (03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13	☎ (055)222-5822
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎ (045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎ (025)286-0180

中部地区

県	所在地	電話番号
石川	金沢市横川3丁目20	☎ (076)280-6608
富山	富山市根塚町1丁目1-4	☎ (076)424-2549
福井	福井市問屋町2丁目14	☎ (0776)25-5001
長野	松本市寿北7丁目3-11	☎ (0263)86-9209
静岡	静岡市葵区千代田7丁目7-5	☎ (054)287-9000
愛知	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎ (052)819-0225
岐阜	岐阜市中鶉4丁目42	☎ (058)278-6720
高山	高山市花岡町3丁目82	☎ (0577)33-0613
三重	津市久居野村町字山神421	☎ (059)255-1380

近畿地区

県	所在地	電話番号
滋賀	栗東市霊仙寺1丁目1-48	☎ (077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎ (075)646-2123
大阪	大阪市城東区関目2丁目15-5	☎ (06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地	☎ (0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎ (073)475-2984
兵庫	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4	☎ (078)796-3140

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

ナショナル パナソニック 修理ご相談窓口

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

中国地区

県	所在地	電話番号
鳥取	鳥取市安長295-1	☎ (0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎ (0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎ (0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎ (0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎ (0855)22-6629
岡山	岡山市田中138-110	☎ (086)242-6236
広島	広島市西区南観音1丁目13-5	☎ (082)295-5011
山口	山口市小郡下郷220-1	☎ (083)973-2720

四国地区

県	所在地	電話番号
香川	高松市勅使町152-2	☎ (087)868-6388
徳島	徳島市沖浜2丁目36	☎ (088)624-0253
高知	高知市仲田町2-16	☎ (088)834-3142
愛媛	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1	☎ (089)905-7544

九州地区

県	所在地	電話番号
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎ (092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	☎ (0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎ (095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎ (097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	☎ (0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎ (096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎ (0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎ (099)250-5657
大島	奄美市名瀬朝仁町11-2	☎ (0997)53-5101

沖縄地区

県	所在地	電話番号
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎ (098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0108

さくいん